

平成 30 年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

公的目的事業 1 地域医療の質的向上・体制整備を図り、住民の健康増進及び地域社会の健全な発展に寄与する事業

益田地域医療センター医師会病院（病院事業部）

中長期計画（実施計画）について						
1 在宅を中心とした安心して住める環境づくり						平成 30 年度 実施事業（計画） 及び 実施計画の変更点
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	備 考	29	30	31
1 社会保障制度の流れと地域の特性、ニーズに対応したシステムの整備・推進	①情報の収集・調査分析	a 国・県・市町村・日本医師会等情報の収集と調査・分析	1. 収集した情報について医師会として共有し、対応（方針）について検討する。 【重点事項】 ①介護療養型医療施設の廃止（平成 29 年度） ②診療報酬・介護報酬同時改定（平成 30 年度） ③第 7 次医療計画（平成 30 年度）（島根県地域医療構想の見直し） ④第 7 期益田市介護保険事業計画（平成 30 年度）（えっとまめなプラン）	→	→	→
		b 情報の集約、分析を中心となって担う体制の検討	1. 情報を集約・分析し意見を付して理事・会員等へ提供ができる体制について検討する。（プロジェクトチーム(PJ)等の設置について検討する。）	→	→	→
	②進展する高齢化社会における地域の医療・介護等への対応	a 地域のニーズの把握	1. 社会構造の変化に伴う地域のニーズについて把握する。	→	→	→
		b 「地域包括ケアシステム」の推進 ・益田市との意見交換 ・医師会の役割（方針）検討 ・体制等検討 ・関係事業の実施	1. 「地域包括ケアシステム」への対応（役割）と必要な体制について検討する。 2. 地域ケア会議等への参加を通して、医師会施設や活動を P R し利用の促進を図る。 3. 包括支援センター設置について役割を検討する。	→	→	→
		c 在宅医療・介護連携推進事業の推進 ・コア会議による益田市との調整 ・医師会実施事業について検討 ・体制等検討 ・事業の実施	1. 「在宅医療・介護連携推進事業」で医師会が実施する事業について検討し、必要な体制等を整備する。 2. 益田市主催のコア会議に提案・協議・調整する。	→	→	→
				→	→	→
				→	→	→
	③医師会独自の医療・介護支援体制の検討と運営	a 益田市等との連携	1. 医師会業務の明確化を図り、取り巻く状況やニーズの変化に適切に対応した連携を行う。	→	→	→

平成 30 年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

		b 会員との連携	1. 会員と連携し、医師会資源を有効に活用した医療・介護の支援体制の構築に努める。	→	→	→	・継続実施 ・益田地域医療・介護ビジョン委員会で、将来の医師会の人材・資源の投資方法の検討を始める。
		c「医療・介護推進プロジェクト」の推進	1. 「地域医療介護連携統括部」を核とした「医療・介護推進プロジェクト」を重点的に推進する。 2. 「地域医療介護連携統括部」の推進体制について検討する。	→	→	→	・継続実施
		d 先進事例等の調査と検討	1. 先進事例等を調査し、地域の医療介護に資する新たな取組について検討する。	→	→	→	・本部・地域医療介護連携統括部と協働で行なう。
	④医療と介護の地域連携システムの導入と運用	a 情報の共有化システム検討	1. 医師会病院事業部 ・医療情報連携システム導入・運用について検討する。 ・システムの仕様について検討する。	→	→		・現時点の医療情報連携システムの導入は資金的に困難 ・システム情報収集や連携に必要な仕様の検討のため医療情報連携システム導入・MCS 促進を含めたPJチームを立ち上げる
		b MCS（介護等の連携）、まめネット（医療機関同士の連携）の利用促進	1. 両機能をうまく使い分け、効率的な地域連携システムを構築し利用の促進を図る。	→	→		・継続実施
2 医師会員（かかりつけ医）の診療支援	①対応困難な診療への支援	a 対応困難な診療の把握調査	1. ニーズを把握し可能な支援について検討する。	→	→		・人材不足の中、育成プロジェクトを利用した体制を検討する
	②休診・休日・夜間の支援体制の整備	a 現状での問題点の把握	1. 現状での問題点を把握し、可能な支援について検討する。	→	→		・人材不足の中、育成プロジェクトを利用した体制を検討する
	③医師会員のニーズに対応した体制の検討	a 会員ニーズの調査	1. アンケート等によりニーズを集約する。	→	→		・人材不足の中、育成プロジェクトを利用した体制を検討する
		b 必要な体制等の検討	1. ニーズ等に基づき、可能な体制について検討する。	→	→	→	・継続実施
4 推進体制の整備	①安定した経営基盤に立脚した地域支援推進体制の構築	a 地域医療支援病院・地域医療拠点病院としての支援機能の充実	1. 地域医療の確保に必要な機能・体制の充実に努める。	→	→	→	・益田地域医療・介護ビジョン委員会プロジェクトチーム会議による情報集約・分析を行う。
	②地域内完結率の向上	a 医師会内の連携強化 ・統括部内の連携体制の強化 ・病床カンファレンスの充実	1. 病床機能を最大限に有効活用できるシステムをつくる。	→	→		・継続実施 ・病床活用カンファレンス兼医療介護連携委員会の活性化の検討

平成 30 年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

		・退院支援体制の強化	2. 地域内完結率向上意識の徹底を図る。	→	→	→	・継続実施
		b かかりつけ医との連携強化 ・訪問診療体制の調査 ・在宅療養後方支援病院の検討 ・機能強化型在宅療養支援診療所の検討	1. 訪問診療等により自宅への退院患者を増やす方策について調査・検討する。	→	→	→	・継続してかかりつけ医との連携強化を図る。 ・在宅医療の在り方について検討する。
		c 近隣病院・介護事業所との連携強化 ・連携会議の開催 ・定期施設訪問の実施 ・研修会の開催	1. 他病院・他施設との役割を分担し、連携強化に努める。	→	→	→	・本部・地域医療介護連携統括部と協働で行なう。 ・H29 年度より圏域医療連携実務者会議を開催継続実施
		d 地域住民理解の推進 ・地域・学校での講演会 ・イベント等での P R 活動	1. 各種活動を通じ、在宅復帰等への理解を得る。	→	→	→	・本部・地域医療介護連携統括部と協働で行なう。 ・H29 年度より在宅医療・介護連携推進事業を開始。本事業を活用して、継続実施
		e 病床機能の検証 ・必要な病床機能の検討 ・地域外流出実態の調査	1. 病床機能再編に備えたデータを蓄積する。	→	→		・益田地域医療・介護ビジョン委員会プロジェクトチーム会議による情報集約・分析を行なう。
2 医療機能再編への対応							平成 30 年度 実施事業（計画） 及び 実施計画の変更点
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	備考	29	30	31	
1 医療機能再編に 応じた必要な対策の 検討と推進	①「地域医療構想」への対応	a「地域医療構想」の検証と対応検討 ・情報の収集と分析	1. 「地域医療構想」について、医師会としての対応について検討する。	→	→	→	本部と同じ
	②他医療機関との連携と役割分担の検討	a 医療センター内での各病棟・施設との役割分担の検討		→	→		本部と同じ
		b 圏域内の他医療機関との役割分担の検討	1. 他病院との会議等で連携を深め役割分担について引き続き検討する。	→	→	→	本部と同じ
	③病床機能ごとの運営方針の検討と策定 ・急性期機能 ・回復期機能	a 急性期機能の運営方針の検討	1. 利用者の疾病の特性について調査し整理する。 2. 急性期機能の在り方について検討する。	→	→	→	・病院管理会や益田地域医療・介護ビジョン委員会プロジェクトチーム会議で、情報集約・分析を行なう。 ・平成 30 年改正内容に対応する方針決定を行なう。

平成 30 年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

	・慢性期機能	a 回復期機能の運営方針の検討	1. 利用者の疾病の特性について調査し整理する。 2. 回復期機能の在り方について検討する。	→	→	→	・病院管理会や益田地域医療・介護ビジョン委員会プロジェクトチーム会議で、情報集約・分析を行う。 ・平成 30 年改正内容に対応し、方針について検討する。
		a 慢性期機能の運営方針の検討	1. 利用者の疾病の特性について調査し整理する。 2. 慢性期機能の在り方について検討する。	→	→	→	・病院管理会や益田地域医療・介護ビジョン委員会プロジェクトチーム会議で、情報集約・分析を行う。 ・平成 30 年改正内容に対応し、方針について検討する。
2 介護療養病床 転換（平成 29 年度）への対応	①役割分担と必要な 体制整備の検討	a 利用者の状態把握と新たな施設の 検討	1. 利用者の状態（病状・生活）について把握し分析する。	→			・介護医療院 I 型を算定の場合は、利用者は介護療養型医療施設と同じ。（終了）
		b 情報の収集と新たな施設運営に伴う 収益シミュレーションの実施	1. 平成 30 年度の介護報酬改定に向けて、情報収集を行い、収益のシミュレーションを行う。	→			・介護医療院 I 型で収益のシミュレーションを行なった場合は、介護療養型医療施設とほぼ同額。（終了）
		c 新たな施設への移行等方針の検討 （29 年度末迄に転換）	1. 平成 28 年度中に移行の方向性について、国の動向を見極め、平成 29 年度末の転換への準備を行う。 2. 老健等の施設やサービス付き高齢者向け住宅等ニーズに合った住居の建設も選択肢に入れた検討を行う。 3. 各病棟の入院・入所条件外の者の受入れ対応について検討する。 4. 介護医療院への転換の検討（新設）	→	→		・平成 30 年度中に方針について検討する
		d 「公的目的事業」の内容変更等 検討	1. 介護療養病床転換の検討に合わせ公益目的事業の事業（内容・方法等）について必要な検討を行う。	→	→		・継続実施
3 在宅医療への 対応	①在宅医療への支 援・検討	a 会員及び圏域ニーズ等の調査	1. 在宅医療への支援についてニーズ等調査を行う。	→			・益田保健所が在宅医療アンケート調査を行なった。（終了）
		b 調査に基づく支援（必要性）の 検討	1. 在宅医療への支援体制の必要性について検討する。 2. 常勤医による訪問診療機能・へき地診療機能の新設の必要性について検討する。 3. 訪問栄養食事指導体制について検討する。		→	→	・継続実施 ・特定看護師の活用方法を検討する

平成 30 年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

	②在宅復帰できない患者への対応	a 療養病棟の形態変更の検討	1. 療養病棟の在宅適応患者が退院するための支援体制について検討する。 2. 在宅困難ケースの増加に伴う、24 時間訪問看護・介護サービスの提供について検討する。 3. 現在の病棟機能から漏れる利用者の救済方法について検討する。 4. 末期腎不全患者の入院の受入れ体制の検討を行う 5. ガイドラインに基づく終末期医療の提供の検討を行う	→	→	→	・継続実施 ・透析実施日数の増加を検討する
3 医療・保健・福祉サービスの提供							平成 30 年度 実施事業（計画） 及び 実施計画の変更点
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	備考	29	30	31	
1 益田圏域の医療ニーズへの対応	①新設の診療科の検討	a 会員医師のニーズ調査	1. 地域で不足する診療科への対応等について会員アンケート調査を行う。	→	→		・継続実施
	②癌治療の変化への対応の検討	a 最新の癌治療の情報収集	1. 治療方法、治療の紹介先、緩和ケア等の情報を集積し、必要な提供を行う。	→	→	→	・継続実施
	③高齢者医療の充実	a 高齢者の増加に対応できる看護体制の検討	1. 増加する高齢者に対応できる看護体制について検討する。	→	→	→	・看護・介護の質の担保と業務量を根拠にした適正配置を検討する ・3 階病棟への配置を検討する。 ・継続実施 ・3 人夜勤の継続、未実施部署を検討する ・継続実施
			2. 看護補助クレークの導入について検討する。	→	→		
			3. 夜勤の負担軽減（看護補助者の夜勤導入等）について検討する。		→		
			4. 3 人夜勤体制について検討する。		→	→	
			5. 夜間看護体制の充実を目指し、診療報酬加算の取得について検討する。	→	→	→	
		b 高齢者の療養環境の整備充実	1. 遠方家族の安心と家族とのコミュニケーションによる心の安定化の方策について検討する。 2. 利用者と遠方のご家族との TV 電話の利用及び療養状況の案内について検討する。 3. 独居老人を安心して預かることができるシステムについて検討する。 4. 管理できる人的要員確保の検討	→	→	→	・平成 29 年度に I T を使用したテレビ電話などの提案をしたが未実施のため継続実施（ME 室）
	④高齢者特有の疾病への対応	a 糖尿病患者を支援できる体制の確立	1. 糖尿病支援ネットワーク事業を推進する。 2. 糖尿病療養指導士の資格取得を推進する。 3. 院内に在籍している療養指導士等の活用について検討する。	→	→	→	・継続実施
		b 肺炎等増加する疾病への対応の確立	1. 増加する肺炎等へのより適切な対応について検討する。	→	→	→	・継続実施

平成 30 年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

	⑤増加する認知症患者への対応	a 認知症患者の療養環境の充実	1. 認知症へ対応できる体制（人材確保・環境整備・病院支援体制）について検討する。 2. 認知症ケアの質向上のため人材（認定看護師等）を育成する。 3. 認知症高齢者増加対応として院内デイケアを検討する。 4. レクリエーション可能な院内デイサービス、宅老所の設置等について検討する。	→	→		・継続実施 ・継続実施 ・継続実施 ・継続実施
	⑥リハ医療の充実（新設）	a 外来リハの機能充実	1. 維持期リハへの対応の検討 2. 嚥下評価・スポーツリハ・ボトックス療法・自動車運転支援などの推進		→	→	・病院での介護利用者（短時間通所リハ）の取扱いの検討 ・開業医や行政への説明、地域住民への啓発
		b 入院リハの機能充実	1. 一般病棟の土祝日リハの充実 2. 地域包括ケア病棟・回復期病棟・老健のリハの機能分化の明確化 3. リハ目的や教育入院などでの対象者拡大		→	→	・療法士数の検討 ・リハ機能のあり方を包括的に検討する
		c 地域活動の充実	1. 保健所や益田市、医療介護連携支援センターなどの連携強化		→	→	・益田市地域ケア会議、医療介護連携推進協議会、地域リハ推進会議などでの意見交換。介護予防事業への協力
2 益田圏域の保健等ニーズへの対応	①予防医療の推進	a 予防医療推進方針の検討	1. 益田圏域の予防医療推進方針について検討する。	→	→		・益田地域医療・介護ビジョン委員会で、将来の医師会の対応（方針）を検討する。
	②健診分野の拡大	a 人間ドック受け入れ枠の拡大	1. 機器の更新（現在の機器は耐用年数を超過しており、NBIが不可能）を行う。 2. 内視鏡検査医の確保について努める。 3. 午後の検診、サンデー検診、レディース検診の実施について検討する。	→	→	→	・内視鏡機器の更新を平成 29 年度に行う。 ・平成 30 年 4 月に内視鏡医 2 名の増員予定
	③休日健診の検討	a 休日健診のニーズ調査	1. 休日健診のニーズ等について調査する。	→	→		・継続実施 ・平成 29 年度も毎年行う乳がん検診のみを実施

平成 30 年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

		b 休日健診の実施検討	1. 上記調査に基づき休日健診の実施について検討する。 2. 休日乳がん検診に加えて、休日レディース検診として、子宮がん検診とセットで行うなどの取組について検討する。 3. 仕事の効率化等、人員不足の解消策について検討する。 4. パート職員の雇用等による休日健診が行える体制について検討する。		→	→	・スタッフの安定確保や新規雇用できれば検討を行う。
④ 予防の推進活動 （予防の重要性の周知）	a 健康予防の情報提供、健康相談の充実	1. 益田地域産業保健センターとの連携を強化し予防活動を推進する。	→	→	→	・継続実施	
	b 普及啓発活動の実施	1. あらゆる機会を通じ、予防の重要性等について周知する。	→	→	→	・継続実施	
⑤ 特定保健指導の推進	a 必要なスタッフの安定確保	1. 特定保健指導のニーズを調査し、必要な体制を整備する。	→	→		・平成 29 年 11 月益田市より特定保健指導の実施の依頼あり。現時点でスタッフの安定確保は困難	
	b 医師、保健師、管理栄養士の教育		→	→	→	・継続実施	
	c 管理栄養士の配属検討		→	→		・現時点でスタッフの安定確保は困難	
	d 健診システムの機能アップによる指導希望者の再検査システム導入検討	1. 健診システムのバージョンアップの検討を行う。	→	→	→	・実施時期にバージョンアップを行う。	
⑥ 保健予防センターの独立設置検討	a 健診センター設置検討	1. 独立した健診センターの必要性と可能性について検討し、将来に備える。	→	→	→	・継続実施	

4 利用者サービスの向上と創出

							平成 30 年度 実施事業（計画） 及び 実施計画の変更点
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	備考	29	30	31	
1 新たな利用者サービスの検討	① 医師会独自のサービス提供の検討	a 会員・患者ニーズの調査	1. 本部と協働してアンケート等を行い、ニーズを把握する。	→			・継続実施
		b 医師会ネットワークを活かした新サービスの検討	1. 上記調査に基づき可能なサービスについて検討する。	→	→		・継続実施

平成 30 年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

2 利用者サービスの向上	①安全な医療環境の整備	a 安全管理者の養成	1. 看護部以外の医師、診療部、事務部での医療安全管理者の養成について検討する。	→	→	→	・検討を継続
		b 医療事故発生時の対応体制の確立	1. 法律等の施行に合わせた体制の更新等を実施する。	→	→	→	・継続実施
		c 臨床工学室の機能の強化による医療機器の安全の確保	1. 臨床工学室の継続的な人材の育成・確保について検討する。	→	→	→	・継続実施（学会認定取得者の臨床業務への推進）
		d 院内感染対策の充実に向けた取組	1. 標準予防策遵守に必要な環境の整備を行う。 2. 空調管理について見直しを行う。 3. 院内清掃について見直しを行う。 4. 病棟内設備の整備を行う。	→	→	→	・継続実施 ・感染防止対策地域連携加算の取得
		e 院内感染発生時の対応の強化	1. I C T 活動を充実（時間の確保）する。 2. 保健所との連携を強化する。 3. 益田市内で感染防止対策加算 1 を取得している益田赤十字病院との連携を行う。 4. 松ヶ丘病院との連携を継続する。	→	→	→	・継続実施
		f 感染管理認定看護師の後任の育成	1. 計画的な認定看護師の育成を行う。	→	→	→	・継続実施
		g 薬剤科による安全な薬剤管理の充実（新設）	1. 薬剤の安全性の向上 2・薬剤総合調整加算の取得に向けての体制作り 3・院内副作用情報共有方法の確立 4・薬剤管理サマリー等による保険薬局との連携の強化		→		
	②緩和ケア（在宅・院内）への対応	a 緩和ケアチームの体制強化	1. 緩和ケアチームの体制強化について検討する。 ①緩和ケアチームの継続と強化。 ②認定看護師の介入による実践力強化。	→	→		・継続実施
	③患者への診療リスクの緩和	a 特定看護師、認定看護師の配置方法の検討	1. 本部と協働し特定看護師等の業務方針や勤務体制等について検討する。 2. 業務分掌・勤務体制・処遇・定数等を検討する。 3. 医師・看護部等医師会組織への周知徹底を行う。 4. 特定看護師の継続的育成と活用方法の検討を引き続き行う。（新設） 5. 委員会の設置と組織的な体制の構築を検討する。（新設）	→	→		・1～3は終了
	④N S T や褥瘡などの診療の質を上げる委員会の活用	a N S T や褥瘡などの診療の質を上げる委員会の運営方法の再検討	1. 栄養サポートチーム加算取得を目指し再検討する。	→	→		・継続実施 （人員不足のため活動が停滞中で再検討が必要）

平成 30 年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

	⑤診療の質を上げるための組織体制	a 診療の質を上げるための部門の検討	1. 皮膚・排泄ケア及び摂食・嚥下障害看護認定看護師の育成について検討する。	→	→		・継続実施
	⑥外来環境の整備	a 外来スペースの環境整備	1. 利用者が利用しやすく快適なスペースについて検討し整備する。	→	→		・継続実施
4 情報発信、広報活動の実施と充実	①より効果のある広報活動の展開	a 広報活動体制の見直し	1. 効率的でより効果のある広報活動が展開できる体制について検討し必要な見直しを行う。	→	→		・継続実施
		b 情報誌（双葉他）の魅力化	1. 魅力ある誌面作りについて検討する。	→	→		・本部と協働して行なう。（広報委員会の強化）
		c H P のリニューアルの検討	1. 新しい感覚による見たくなるホームページについて検討する。 2. 公益社団法人としての情報掲載について検討する。	→	→		・本部と協働して行なう。（広報委員会の強化）
		d インターネット（HP・SNS）の活用促進	1. インターネットを活用した病院の周知対策として、新たな発信方法を展開する。	→	→	→	・本部と協働して行なう。（広報委員会の強化）
		e 関係機関や地域への広報の実施	1. 多くの媒体を利用した広報対策について検討し実施する。	→	→	→	・本部と協働して行なう。（広報委員会の強化）
5 医師会共同利用施設活用への支援と利用促進							平成 30 年度 実施事業（計画） 及び 実施計画の変更点
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	備考	29	30	31	
1 会員が利用しやすい共同利用施設の運営	①会員が利用しやすい共同利用施設の運営方法の検討	a 会員ニーズの調査	1. 利用し難い理由等も含めたアンケートの内容について検討し実施する。	→	→		・継続実施
		b 会員医師との連携強化	1. 会員医師と連携を強化し共同利用の推進に努める。	→	→	→	・継続実施
		c 放射線検査の予約方法の検討	1. 効率的な運用により予約枠の拡大について検討する。	→			・緊急対応等では可能な限り要望に努めている。 （現状予約数が少なくなっている。）（終了） ・システム改修が完了。運用について検討中。
			2. 放射線検査オンライン予約システムの導入について検討する。	→	→		
			3. 放射線検査画像、検査レポートの受け渡し方法について検討する。	→	→		
d 地域医療介護連携統括部と病棟との連携強化	1. 退院調整看護師の増員等による退院支援の充実に ついて検討する。	→	→		・継続実施（退院後訪問数の向上を図る。）		
e 在宅療養後方支援病院の検討	1. 在宅療養後方支援病院の施設基準の取得について 検討する。	→	→		・継続実施		

平成 30 年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

②地域医療支援病院としての機能の充実	a 紹介率の向上対策	1. 会員との連携強化（紹介方法・受入態勢等）について検討し実施する。 2. 退院調整能力の向上について検討し、紹介率の向上を図る。 3. 会員と常勤医師の協議の場を設定する。	→	→	→	・継続実施
	b 救急の維持対策	1. 圏域救急病院と役割を分担し圏域の救急医療の一翼を担う。 2. 会員の協力体制について検討する。	→	→	→	・継続実施
	c 共同利用の促進対策	1. 医療機器等の共同利用の更なる利用について検討し、利用率の向上に努める。	→	→	→	・継続実施
③外来診療部門等の整備検討	a 人員配置の見直し検討	1. 何が不足しているのか等、調査し必要な体制について検討する。	→	→		・継続実施
	b 既存検査機能の拡大	1. 検査機能の補完（益田赤十字病院の検査部門をバックアップ機関として使用させてもらうための協議を行う（検査項目、手順））について検討する。 2. 検査機能の拡大（不妊治療のための検査設備の充実（外来部門、採精室の整備））について検討する。	→	→		・継続実施
	c 最新医療機器・備品の整備検討	1. ニーズ・必要性・経営等、多角的に検討する。	→	→	→	・継続実施
④臨床検査センターの安定した運用	a 臨床検査センターの運用データの収集	1. 開設以降の各種データを収集・蓄積する。	→			・運営委員会で把握（終了）
	b 臨床検査センターの運用について会員意見聴取	1. 医師会員訪問に同行し、意見聴取を行う。	→	→	→	・継続実施
	c 臨床検査センターの運用方法の検討	1. 収集したデータ・意見等を元に、運用方法について検討する。	→	→	→	・継続実施
⑤会員が利用しやすい共同利用施設の設置と運営方法の検討	a より良い関係構築のための方策検討	1. 毎年の会員医訪問において改善点・要望を聴取し、必要な方策について検討する。	→	→	→	・継続実施（10月から8月に変更予定）
	b 会員ニーズの調査	1. 毎年の会員医訪問において改善点・要望を聴取し、事業部全体へフィードバックを行う。	→	→	→	・継続実施
	c 地域医療介護連携統括部との連携強化	1. 各事業部の利用動態について定期的に報告・協議を行い、連携を強化する。	→	→	→	・継続実施

平成 30 年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

			2. 地域医療介護連携統括部内の相談員同士での情報交換を密にし、相互利用活性化を図る。				
2 医師会会員と連携協働した経営対策の検討	①経営の点検評価、意見交換の実施	a 理事会での評価及び意見交換	1. 規程に基づく執行状況報告に合わせ、経営の点検評価を行う。	→	→	→	・継続実施
		b 総会での意見交換	1. 定期総会において経営について意見交換を行う。	→	→	→	・継続実施
	②安定した経営方策の検討	a 経営方策について検討	1. 上記評価及び意見交換に基づき安定した経営策について検討する。	→	→	→	・継続実施
3 医療事故への対応	①医療事故への対応	a 医療事故支援体制の検討	1. 医療事故研修会等への参加を促進する。 2. 医療事故相談体制について検討する。	→	→	→	・継続実施
4 医師会（会員を含む）の診療等経費削減努力	①診療材料削減方法の検討	a 医療材料購入の情報収集	1. 手術材料等の他施設の導入状況やメーカーの情報等について調査する。	→	→		・継続実施
		b 医療材料購入の方策検討	1. 上記調査等に基づき経費の削減方策について検討する。			→	

7 安定した経営基盤の確保

平成 30 年度 実施事業（計画）
及び 実施計画の変更点

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	備考	29	30	31	
2 常勤医師の負担軽減	①常勤医師のニーズ等調査	a 常勤医師ニーズ等調査	1. 勤務医・看護職員負担軽減策定委員会の活性化を図る。 2. アンケート調査を実施する。	→	→	→	・現在WLB委員会があるが、職員の要望を吸い上げるような実働的な会にする ・「親父の背中プログラム」支援委員会の活動を通じ行う。
		b 問題点の把握と課題	1. 精神面のフォロー体制（医師同士が支え合える医局を作る）の構築について検討する。 2. カンファレンス等への参加について徹底する。	→	→	→	・「親父の背中プログラム」支援委員会の活動を通じ行う。
		c 課題への対応策検討、実施	1. 勤務医・看護職員負担軽減策定委員会の活性化を図る。	→	→	→	・現在WLB委員会があるが、職員の要望を吸い上げるような実働的な会にする ・「親父の背中プログラム」支援委員会の活動を通じ行う。
	②休日・夜間の支援体制の整備	a 休日・夜間の支援体制の検討	1. 引き続き支援体制の充実について検討する。	→	→	→	・継続実施
		b 休日・夜間の支援体制の実施	1. 併せて平日当直についての協力要請について検討する。	→	→	→	・継続実施

平成 30 年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

3 一般病棟の利用率低下への対応	①かかりつけ医・周辺施設と患者情報の共有による効果的なベッドコントロールの実施	a 会員との情報交換の充実	1. 地域医療介護連携統括部と共働して、会員と情報交換を行う。 2. 病棟の情報提供と、適切な病棟利用への協力依頼を行う。	→	→	→	・継続実施
		b 周辺施設との連携強化	1. 地域医療介護連携統括部と共働して、周辺施設と情報交換を行う。	→	→	→	・継続実施
	②紹介件数の向上	a 会員・近隣病院・介護事業所に病院情報等の提供	1. 地域医療介護連携統括部と共働して、効果的な情報提供を行う。	→	→	→	・継続実施
		b 近隣病院や介護事業所との連携強化による対象者の確保	1. 地域医療介護連携統括部と共働して、近隣病院や介護事業所からの患者の確保に努める。 2. 近隣病院・介護事業所と連携方策について協議を重ねる。	→	→	→	・継続実施
		c 紹介栄養指導（集団・個人）の継続		→	→	→	・継続実施
	③診療報酬等収益の確保対策	a 病床利用率等の調査	1. 病床区分別に利用率等の調査を行う。	→	→	→	・継続実施 （継続して各種基礎データの収集分析が必要）
		b 個室化への情報収集・検討	1. 個室希望者調査を行い、適正な個室数について検討する。	→	→		・継続実施
		c 診療報酬改定の際の算定できる加算等の研究と算定方法の検討	1. 病棟ごとに増収に向けての対策について検討する。	→	→	→	・平成 30 年度の診療・介護報酬改定内容の分析、算定のための方法を検討する。
4 地域包括ケア病棟の利用促進への対応	①効果的なベッドコントロールの実施	a 周辺病院・施設との連携強化	1. 連携会議（益田赤十字病院）を継続する等連携の強化を図る。	→	→	→	・継続実施（連携会議の活用）
		b 病棟活用カンファレンスの有効利用	1. 入院状況や入院取扱いの偏在化解消のため、ベッドコントロールの一元化及び標準化を図る。	→	→	→	・継続実施
	②紹介件数の向上	a 近隣病院や介護事業所との連携強化による対象者の確保	1. 地域医療介護連携統括部と共働して、近隣病院や介護事業所からの患者の確保に努める。 2. 近隣病院・介護事業所と連携方策について協議を重ねる。	→	→	→	・継続実施
	③診療報酬等収益の確保対策	a 病床利用率等の調査	1. 病床区分別に利用率等の調査を行う。	→	→	→	・継続して各種基礎データの収集分析が必要。

平成 30 年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

		b 診療報酬改定の際に算定できる 加算等の研究と算定方法の実施	1. 病棟ごとに増収に向けての対策について検討する。	→	→	→	・平成 30 年度の診療・介護報酬改定内容の分 析、算定のための方法を検討する。
5 特定病棟（回 復期リハ・特殊疾 患・療養病棟）の 利用者減少への対 応	①効果的なベッドコン トロールの実施	a 周辺病院・施設との連携強化	1. 連携会議（益田赤十字病院）を継続する等連携の 強化を図る。	→	→	→	・継続実施
		b 病棟活用カンファレンスの有効利 用	1. 入院状況や入院取扱いの偏在化解消のため、ベッド コントロールの一元化及び標準化を図る。	→	→	→	・継続実施
	②紹介件数の向上	a 近隣病院や介護事業所との連携 強化による対象者の確保	1. 地域医療介護連携統括部と共働して、近隣病院や 介護事業所からの患者の確保に努める。 2. 近隣病院・介護事業所と連携方策について協議を重ねる。	→	→	→	・継続実施
	③診療報酬等収益 の確保対策	a 病床利用率等の調査	1. 病床区分別に利用率等の調査を行う。	→	→	→	・継続して各種基礎データの収集分析が必要。
		b 診療報酬改定の際に算定できる 加算等の研究と算定方法の実施	1. 病棟ごとに増収に向けての対策について検討する。	→	→	→	・平成 30 年度の診療・介護報酬改定内容の分 析、算定のための方法を検討する。
	④回復期リハ病棟の効 率的な運用	a 回復期リハ病棟に関する情報収 集と分析	1. ニーズや対象者の流れを把握する。	→	→	→	・継続実施
		b 回復期リハ病棟の施設基準Ⅱ取 得の検討。3 取得の検討	1. 治療成績（FIM）の向上検討・対策へ計画をシフト する。 2. 施設基準Ⅱの取得は必須、施設基準Ⅰの可能性を 検討する。（施設基準が新しくなるので）3 以上の可 能性を検討する	→	→		・継続実施
		c 回復期病棟の治療成績の集計 分析	1. 患者獲得への分析・検討を行う。 （リハビリテーション科と回復期リハビリテーションスタッフで の合同勉強会実施） 2. 地域住民や医療機関に啓発活動を行う。 3. 看護師と療法士を公式な FIM 研修会へ派遣する。 4. 院内で適正な評価につながるための定期的な勉強会 を開催する。	→	→	→	当院の関連データと地域の状況の分析を行い、当 病棟と益田市の状況と今後についての勉強会を開 催。
		d 回復期病棟入院対象者の拡大 や入院体制の見直し	1. 廃用症候群などの入院受け入れ体制の確立 2. 入院までの期間の短縮 3. 在院日数の短縮の検討		→	→	・院内各科との協議 ・日赤・浜田医療センターとの協議
	⑤他組織（介護保 険サービス）との 連携強化による増	a 退院後の調整強化	1. 地域医療介護連携統括部と共働し、医師会内介護 事業所との連携方法について検討する。	→	→	→	・継続実施

平成 30 年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

	収	b 退院調整関係の診療報酬の増収対策の検討	1. 地域医療介護連携統括部との連携・共働し増収対策について検討する。	→	→	→	・継続実施（退院後訪問、介護支援指導、退院調整の充実を図る）
		c 会員医療機関連携による診療報酬増収の対策の検討	1. 会員と連携することで算定できる加算について検討する。（在宅療養後方支援病院、退院時共同指導等） 2. 会員医療機関が、在宅療養支援診療所を取得できる支援体制の検討を行う。	→	→	→	・継続実施

8 人材の確保・育成と働きやすい職場づくり							平成 30 年度 実施事業（計画） 及び 実施計画の変更点
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	備考	29	30	31	
1 計画的な人材の確保と育成 2) 医師会職員への教育体制の充実	①研修体制の整備と研修機能の充実	a 全体の教育体制を検証しキャリアプラン形成への制度化及び支援	1. 人事課と検討を継続する。	→	→	→	・平成 30 年度より若手医師育成プロジェクト「親父の背中プログラム」により 2 名の医師を雇用、研修を開始する。
	②新専門医制度への対応	a 制度・先進事例等の調査	1. 調査を継続する。 2. 制度の実施が平成 30 年度からとなり 1 年先送りとなった。	→	→		・島根大学・大阪医科大学・県立中央病院への調査継続
		b 新専門医制度への対応の検討	1. 継続して新専門医制度の推進に協力する。 2. 連携施設として医師の派遣（研修）につながるよう努める。	→	→		・継続実施
		c 専門医育成計画の策定		→	→		・島根大学・大阪医科大学・県立中央病院との連携を継続
	③研修医受け入れ体制の検討	a 研修医受け入れのための必要条 件の整備	1. 各種学会の指定施設となるために各基幹大学や病院との連携に努める。 2. 益田赤十字病院と協議（医学生の実入れも含め）し、必要な条件整備を行う。	→	→		・継続実施
		b 若手医師育成プロジェクト「親父の背中プログラム」の医師に対する研修体制の整備	1. 「親父の背中プログラム」支援委員会による医師会及び病院の支援体制の確立 2. ゲネプロと協働して病院と医師が共にメリットのある「親父の背中プログラム」の作成		→	→	・「親父の背中プログラム」支援委員会による研修内容の検討・実践を行う。
	④認定看護師、特定行為のできる看護師等の資格取得の促進	a 認定看護師、特定行為のできる看護師等の候補者人選及び支援	1. 意欲と適正を見極め認定看護師、特定行為のできる看護師等の資格取得を促進する。 2. 適正な人材を適正な分野で計画的に養成する。	→	→	→	・継続実施

平成 30 年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

3) 医師の求人活動	①医師確保対策 ・医師招聘に必要な条件の整備	a 勤務病院選定理由等調査・分析	1. 医師求人活動に併せた聞き取り等により情報を収集し、必要な条件整備について検討する。	→	→	→	・継続実施
		b 医師確保条件整備の検討	1. 上記、検討に基づき必要な整備を行う。	→	→	→	・継続実施
		c 島根県（医師確保対策室）への働きかけと連携強化	1. 医師確保対策室等に対し、常に働きかける。	→	→	→	・継続実施
		d 島根大学等への働きかけと連携強化	1. あらゆる機会を利用し、医師の派遣について働きかける。	→	→	→	・継続実施
		e 卒後教育・研修プログラムの検討	1. 医師研修制度の変化等を見ながら検討を継続する。	→	→	→	・継続実施
		f 学会認定施設の取得を目指す	1. 医師研修制度の変化等を見ながら検討を継続する。	→	→	→	・継続実施
	・地元出身医師へのアプローチ	a 地元出身医師実態調査	1. 引き続き、地元（高校）出身の医師の状況について調査を行う。	→	→	→	・継続実施
		b 訪問体制の整備（行政、医師会、病院等）	1. 情報等に基づき、ケースに応じ早急に対応できる体制について検討する。	→			・継続実施
		c 医師へのコンタクト実施	1. 機会を見つけ継続する取り組みを行う。	→	→	→	・継続実施
	・行政との連携強化	a 一般社団法人「しまね地域医療支援センター」等との連携	1. 事業への協力と情報の収集に努める。	→	→	→	・継続実施
	・医師研修先として選定される条件の整備	a 研修先選定理由等調査・分析	1. 大学・行政から情報収集を行なう。	→	→	→	・継続実施
		b 医師研修条件整備の検討	1. 研修先としての魅力のある育成体制について検討する。	→	→	→	・継続実施
		c 医療実習生との情報交換		→	→	→	・継続実施
	・大学との連携の強化	a 関係構築方法（戦略）等検討	1. あらゆるチャンネルを活用し連携に努める。	→	→	→	・継続実施
	・医師の交流・ネットワークづくり	a 交流事例等調査		→	→	→	・継続実施

平成 30 年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

		b 交流・ネットワークづくり検討	1. 益田高校出身医師による益田医局会等も含め検討し推進する。	→	→		・継続実施
	・医師の処遇の検討	a 実態調査	1. 他病院等における状況について調査する。	→	→		・継続実施
		b 処遇見直し検討	1. 調査内容について分析する。 2. 就職希望医師の雇用形態別処遇について検討する。 3. 当院にあった雇用形態のあり方について検討する。	→	→		・継続実施
4) 職員の安定確保	①採用困難職種の採用促進	a 根拠に基づく適正な人員配置の設定	1. 不足する専門職の欠員を補うため、業務内容を整理し、補助員の雇用等を含めた定員の見直しを検討する。	→	→		・継続実施
		b 将来を見据えた採用計画を検討（機能再編・人口構造・職員の年齢構成等）	1. 上記定員の見直しを基に 5 年程度の採用計画を立てる。	→	→		・継続実施
	②採用活動の徹底	a 広報ツールを活用した情報発信	1. WEB、SNS、パンフレット等を活用した情報発信を行う。	→	→	→	・継続実施
		b 不断の採用活動の展開	1. 学校訪問、就職セミナーへの参加、ハローワーク等就職斡旋団体等を利用した採用活動を行う。	→	→	→	・継続実施 （薬学生の病院実務実習の受け入れ）
		c 中高生への働きかけ強化と継続的な関係づくり	1. 早期に医療に興味を持ってもらうため、興味がある学生には早期に関係づくりを行っていく。	→	→	→	・本部と協働して行なう。（看護・介護体験実習の継続）
	③給与条件の検討	a 採用困難職種の初任給、各種手当等の見直し検討	1. 競争力のある初任給・手当等の設定について検討する。	→	→		・継続実施
	④採用方法の検証と改善	a 求める人材像の明確	1. 採用基準・方法を再検証して、必要な人材の確保に努める。	→	→		・継続実施
		b 選考方法の検証と改善	1. 事務で行う適性検査について、試験結果と採用後の状況を検証し、他職種採用試験の改善を図る。	→	→	→	・継続実施
	⑤多様な雇用の推進・検討	a 高齢者雇用、障害者雇用の推進	1. 業務の見直しを行い、多様な雇用を促進する。	→	→	→	・継続実施
		b 外国人雇用の検討	1. 介護職等の不足に備え検討し将来に備える。	→	→	→	・継続実施

平成 30 年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

9 計画に基づく必要な施設等の整備充実							平成 30 年度 実施事業（計画） 及び 実施計画の変更点
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	備考	29	30	31	
5 昭和 6 1 年建設病院本館棟の建て替え準備	①本館棟建替資金の計画的積み立て	a 資金の計画的積立て	1. 計画期間（平成 2 4 年度から平成 5 9 年度）において、収支相償上の積立限度額の範囲内で積み立てを行う。	→	→	→	・継続実施

平成 30 年度 運営について							
1 開放型・地域医療支援病院・地域医療拠点病院・診療所の運営							
区 分		目 標		実 施 計 画			
1 益田地域医療センター医師会病院		A) 開放型病院・共同利用施設としての機能の充実		a 医師・看護師などの確保に努める（若手医師育成プロジェクト「親父の背中プログラム」の推進）			
				b 必要な施設整備や医療機器の整備を行う。			
				c 病床機能再編に伴う各病棟の病床や機能の検討を行う。			
				d 売店・食堂の再編に伴う新施設の準備を行う。			
		B) 増収のための取組		a 診療・介護報酬改定による増収項目を調べ算定し増収に繋げる。			
C) 経費削減への取組		a 人件費の高騰による委託費の値上げ幅をコントロールし複数年契約とする。					
病院数値目標（年間収入）		3,234,000,000 円					
1) 一般病棟、外来		A) 救急医療への対応		a 益田赤十字病院と連携の中で救急医療の役割分担を行なう。			
		B) 地域医療への対応（地域医療支援病院、開放型病院）		※地域医療連携統括部と共働して行う			
		C) 地域医療への支援 （後方支援病院・地域医療拠点病院）		a 在宅医療推進（後方支援病院）の検討			
				b 医師（親父の背中プログラム）、特定看護師の在宅医療に係る体制の検討			
				H30.4 月～8 月		H30.9 月～H31.3 月	
		数値目標（入院）		2 階病棟	患者数	－ 人/日	35 人/日
					診療単価	－ 円/日	38,000 円/日
				4 階病棟	患者数	50 人/日	45 人/日
					診療単価	37,000 円/日	38,000 円/日
		数値目標（外来）		患 者 数		95 人/日	
診療単価				12,680 円/日			
2) 地域包括ケア病棟				H30.4 月～8 月	H30.9 月～H31.3 月		
		数値目標		患 者 数	50 人/日	43 人/日	
				診療単価	32,500 円/日	31,500 円/日	

平成 30 年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

3) 特殊疾患病棟			
	数値目標	患 者 数	42 人/日
		診療単価	23,400 円/日
4) 回復期リハビリテーション病棟			
	数値目標	患 者 数	34 人/日
		診療単価	35,000 円/日
5) 医療療養型病棟	他の施設に再編の検討を行う。		
	数値目標	患 者 数	43 人/日
		診療単価	15,400 円/日
6) 介護療養型医療施設	他の施設に再編の検討を行う。		
	数値目標	患 者 数	43 人/月
		診療単価	15,000 円/日
7) 訪問リハビリテーション			
	数値目標	患 者 数	200 人/月
		診療単価	6,750 円/回
8) 保健予防センター			
	数値目標（ドックのみ）	患 者 数	10 人/日
		診療単価	36,350 円/人
2 益田市医師会衛生検査所	原価計算を行い経費の分析を行う。		
3 ヘキ地巡回診療			
	数値目標（年間収入）（補助金は省く）		3,480,000 円
		患者数	2.7 人/日
		診療単価	16,000 円/日

収益事業 1 患者、要介護者等の健康保険・介護保険・福祉の増進を図る事業

1. 益田市立介護老人保健施設くにさき苑

中長期計画（実施計画）について							平成 30 年度 実施事業（計画） 及び 実施計画の変更点
1 在宅を中心とした安心して住める環境づくり							
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	備 考	29	30	31	
1 社会保障制度の流れと地域の特性、ニーズに対応したシステムの整備・推進	①情報の収集・調査分析	a 国・県・市町村・日本医師会等情報の収集と調査・分析	1. 収集した情報について医師会として共有し、対応（方針）について検討する。 【重点事項】 ①介護療養型医療施設の廃止（平成 29 年度） ②診療報酬・介護報酬同時改定（平成 30 年度） ③第 7 次医療計画（平成 30 年度）（島根県地域医療構想の見直し） ④第 7 期益田市介護保険事業計画（平成 30 年度）（えっとまめなプラン）	→	→	→	継続実施。 【重点事項】 ①診療報酬・介護報酬の同時改定への対応。 情報収集に努め、改訂の影響を最大限プラスとなるよう検討していく。 ②医師会で地域包括支援センターを新たに開設するが、連携を密にし、新たな利用者の掘り起こしに繋げる。
		b 情報の集約、分析を中心となって担う体制の検討	1. 情報を集約・分析し意見を付して理事・会員等へ提供ができる体制について検討する。 （プロジェクトチーム(PJ)等の設置について検討する。）	→	→		平成 29 年度に管理職より募集した増収対策案について、PJ を設置し、内容検討を行った。 平成 30 年度は、これを履行し、効果を上げる。
	②進展する高齢化社会における地域の医療・介護等への対応	a 地域のニーズの把握	1. 社会構造の変化に伴う地域のニーズについて把握する。	→	→	→	当苑の利用者が、新たに開設する施設へ移るケースが散見される。利用者のニーズを再度調査し、現状の運営方法で良いのか再確認する。
		b「地域包括ケアシステム」の推進 ・益田市との意見交換 ・医師会の役割（方針）検討 ・体制等検討 ・関係事業の実施	1. 「地域包括ケアシステム」への対応（役割）と必要な体制について検討する。	→	→		在宅支援、リハビリテーション等老健本来の役割をしっかりと果たし、中心的な役割を担う。
			2. 地域ケア会議等への参加を通して、医師会施設や活動を P R し利用の促進を図る。	→	→	→	増収対策を検討する中で、諸々の会議等へ働きかける提案が出ているので、しっかりと履行していく。
			3. 包括支援センター設置について役割を検討する。	→	→		支援相談員との連携や要支援者の給付管理等での居宅との連携が必要。
		c 在宅医療・介護連携推進事業の推進 ・コア会議による益田市との調整 ・医師会実施事業について検討 ・体制等検討 ・事業の実施	1. 「在宅医療・介護連携推進事業」で医師会が実施する事業について検討し、必要な体制等を整備する。	→	→		医師会に協力していく。
	2. 益田市主催のコア会議に提案・協議・調整する。		→	→	→	継続実施。	

平成 30 年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

	③ 医師会独自の医療・介護支援体制の検討と運営	a 益田市等との連携	1. 医師会業務の明確化を図り、取り巻く状況やニーズの変化に適切に対応した連携を行う。	→	→	→	4 月に新たな施設が開設され、当苑の利用者が数名移られる。利用者ニーズの再調査が必要。
		b 会員との連携	1. 会員と連携し、医師会資源を有効に活用した医療・介護の支援体制の構築に努める。	→	→	→	苑情報を積極的に会員に提供し、利用促進を図る。
		c「医療・介護推進プロジェクト」の推進	1. 「地域医療介護連携統括部」を核とした「医療・介護推進プロジェクト」を重点的に推進する。 2. 「地域医療介護連携統括部」の推進体制について検討する。	→	→	→	継続実施。
		d 先進事例等の調査と検討	1. 先進事例等を調査し、地域の医療介護に資する新たな取組について検討する。	→	→	→	継続実施。
	④ 医療と介護の地域連携システムの導入と運用	a 情報の共有化システム検討	2. くにさき苑事業部 ・老健ケアマネジメント方式（R 4 システム）の導入について検討する。 ・老健システム（電子カルテ化）について検討する。	→	→		R 4 システムについては、費用対効果の観点で再検討する。 介護保険システムについては、平成 30 年度当初にリース契約にて更新予定。
		b M C S（介護等の連携）、まめネット（医療機関同士の連携）の利用促進	1. 両機能をうまく使い分け、効率的な地域連携システムを構築し利用の促進を図る。	→	→		在宅関連事業所では、既に稼働し一定の成果を上げている。今後はくにさき苑本体での利用の有効性を検討していく。
3 医療度の高い利用者の在宅支援への検討	① 利用者の環境を把握し必要な支援策の検討	a 施設ケアマネの導入検討	1. 専従ケアマネの配置について検討する。（2F・3F） 2. 施設ケアマネ業務の相談員への分担について検討する。	→	→		支援相談員の負担が大きくなり、苦慮している。 1 名増員の検討が必要。
	② 医療・介護の有効な組み合わせ方策の検討	a 医療センター内の効率的な利用の促進	1. 通所リハの稼働を保ちつつ、利用者の効率的な回転を図る。	→	→	→	増収対策会議でも通所リハの利用増について検討 今年度目標として、しっかりと取り組む。
		b「医療・介護同時報酬改定」の情報収集と対策の検討	1. 介護予防の通所サービスの在り方について検討する。	→	→		継続実施。
		c 医療機器管理についての臨床工学技士の関与の徹底	1. 臨床工学技士との連携を密にし、医療安全に努める。	→	→	→	継続実施。
	③「見守り・生活支援・安住の住居」を満たす地域への支援	a インフォーマルサービスに関する利用者調査	1. 利用者ニーズの調査及び対策について検討する。	→	→		継続実施。
		b ボランティアの積極的な受入れ	1. 入所・通所における通常業務のボランティアの募集を行う。	→	→		継続実施。
		c 在宅復帰を支援するために必要な施設内設備の充実検討	1. 居室の個室化に関するニーズ調査について検討する。	→	→		継続実施。

平成 30 年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

4 推進体制の整備	①安定した経営基盤に立脚した地域支援推進体制の構築	b くにさき苑事業部における各事業所の運営方針の検討	1. 入所・短期入所利用率の向上及びホームヘルプ事業所・居宅介護支援事業所の業績の向上に取り組む。 2. 結果に基づき運営方針等について検討する。	→	→	→	入所・短期入所の利用向上については、増収対策会議において諸々の対策を検討済。 ホームヘルプ事業については、4月から常勤3人体制となる。居宅は増収対策を検討後履行する。
	②地域内完結率の向上	a 医師会内の連携強化 ・統括部内の連携体制の強化 ・病床カンファレンスの充実 ・退院支援体制の強化	1. 病床機能を最大限に有効活用できるシステムをつくる。 2. 地域内完結率向上意識の徹底を図る。	→	→	→	継続実施。
2 医療機能再編への対応							平成 30 年度 実施事業（計画） 及び 実施計画の変更点
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	備考	29	30	31	
2 介護療養病床転換（平成29年度）への対応	①役割分担と必要な体制整備の検討	a 利用者の状態把握と新たな施設の検討	1. 利用者の状態（病状・生活）について把握し分析する。	→			
		b 情報の収集と新たな施設運営に伴う収益シミュレーションの実施	1. 平成30年度の介護報酬改定に向けて、情報収集を行い、収益のシミュレーションを行う。	→	→		継続実施。
		c 新たな施設への移行等方針の検討（29年度末迄に転換）	1. 平成28年度中に移行の方向性について、国の動向を見極め、平成29年度末の転換への準備を行う。 2. 老健等の施設やサービス付き高齢者向け住宅等ニーズに合った住居の建設も選択肢に入れた検討を行う。 3. 各病棟の入院・入所条件外の者の受入れ対応について検討する。	→	→		継続実施。
		d 「公的目的事業」の内容変更等検討	1. 介護療養病床転換の検討に合わせ公益目的事業の事業（内容・方法等）について必要な検討を行う。	→	→		継続実施。
3 在宅医療への対応	③役割分担と必要な体制整備の検討（特殊機能病床の検討）	a 介護老人保健施設としての機能の強化	1. 在宅復帰機能強化型老健の堅持について3要件（在宅復帰率・回転率・重症度）の数値を常に管理し、体制を整備する。	→	→	→	継続実施。
		b 入所待機者を見据えた受け入れ体制の構築		→	→	→	継続実施。
3 医療・保健・福祉サービスの提供							平成 30 年度 実施事業（計画） 及び 実施計画の変更点
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	備考	29	30	31	
3 益田圏域の介護等ニーズへの対	①介護事業の強化	a 在宅サービス事業所の機能強化	1. 在宅系事業所のマンパワー不足の解消及び新規利用者の掘り起しを行う。	→	→	→	継続実施。

平成 30 年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

応	②くにさき苑の充実と連携	a 増加する認知症高齢者への対応検討	1. 認知症ケア研修会への参加等を通じ対応策について検討する。	→	→	→	継続実施。
		b 重度認知症高齢者のための施設増設の検討	1. 益田市の介護保険政策及び介護提供体制の方針等に基づき検討する。	→	×	×	
		c かかりつけ医、精神科医、歯科医師会・薬剤師会との連携強化のための取組	1. 多職種との連携強化に努める。	→	→	→	継続実施。
		d ケアプランの充実のための取組	1. 研修会等により職員の知識等の標準化とレベルアップに努める。	→	→	→	継続実施。
		e 専従ケアマネの配置の検討	1. R 4 システム導入に関する課題として、支援相談員の業務分担と併せて検討する。	→			
		f 適正な人員配置の調査・検討		→	→	→	継続実施。
		g 療養の質向上のための取組	1. 個々の職員のスキルアップを図る。 2. リハビリテーションマネジメント加算Ⅱ算定について体制整備及び算定件数の増加を図る。	→	→	→	継続実施。
		h R 4 システムの導入検討	1. 施設ケアマネ業務について支援相談員との分担について検討する。	→	×	×	
	③レスパイトケア・緊急入所に対応した短期入所療養介護の充実	a 休日・夜間における緊急受入体制の確立	1. レスパイト入所について積極的に受入れを行う。	→	→	→	継続実施。
		b 医師会他事業所との連携による支援体制の構築	1. 地域医療介護連携統括部との緊密な連携による稼働率の増加を図る。	→	→	→	継続実施。
	④通所リハビリテーションの充実	a 個別性、継続性のあるサービスの提供	1. リハビリテーションマネジメント加算Ⅱの要件を満たし、利用者毎に設定したプランを提供していく。	→	→	→	継続実施。
		b 成果の総合的評価と情報提供	1. 利用者毎にアセスメントを行い、関連職種へフィードバックを行う。	→	→	→	継続実施。
		c 介護予防のサービス内容の見直し	1. 介護予防・日常生活支援総合事業（平成 29 年度開始）について、適切な対応を図る。	→	→	→	継続実施。
		d 短時間通所リハビリテーションの検討	1. 定期的に調査を実施し、必要な検討を行う。	→	→	→	継続実施。

平成 30 年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

		e リハビリ機能のあり方（強み）についての検討	1. リハビリテーションマネジメント加算Ⅱの算定について、体制整備及び算定件数の増加を図る。	→	→	→	継続実施。
	⑧ 認知症対応施設の検討	a 現状と今後の動向予測の調査	1. 益田市の現状と方針について調査する。	→	→	→	継続実施。
		b 松ヶ丘病院への認知症に対する診療方針の確認	1. 松ヶ丘病院と緊密かつ良好な関係を継続し、利用者フォローに努める。	→	→	→	継続実施。
		c 増築、改築の実施について検討	1. 上記調査等を踏まえ検討する。	→	×	×	

4 利用者サービスの向上と創出

平成 30 年度 実施事業（計画）及び 実施計画の変更点							
推進課題	対 応 方 針	実 施 計 画（評価指標）	備 考	29	30	31	及び 実施計画の変更点
1 新たな利用者サービスの検討	①医師会独自のサービス提供の検討	a 会員・患者ニーズの調査	1. 本部と協働してアンケート等を行い、ニーズを把握する。	→	→		継続実施。
		b 医師会ネットワークを活かした新サービスの検討	1. 上記調査に基づき可能なサービスについて検討する。	→	→		継続実施。
3 療養の質の管理	①安全な療養環境の確保	a 老朽化した施設設備の計画的な改修	1. 施設整備の負担方法について益田市と協議し決定する。 2. 施設整備 1 0 年計画を策定し計画的な整備を行う。	→	→	→	継続実施。 指定管理契約の更新に向けた協議も開始。
		b 職員のレベルアップのための取組	1. くにさき苑内外を問わず研修の機会を継続して提供する。	→	→	→	継続実施。
		c 介護職リーダーの育成	1. 将来の管理職候補を選定・育成する。	→	→	→	継続実施。
		d 認定特定行為業務従事者の養成	1. 喀痰吸引実施認定者を計画的に育成していく。	→	→	→	継続実施。
		e 利用者の権利擁護への取組		→	→	→	継続実施。
4 情報発信、広報活動の実施と充実	①より効果のある広報活動の展開	a 広報活動体制の見直し	1. 効率的でより効果のある広報活動が展開できる体制について検討し必要な見直しを行う。	→	→		増収対策会議にて対策立案、今後実施していく。
		b 情報誌（双葉他）の魅力化	1. 魅力ある誌面作りについて検討する。	→	→		継続実施。
		c H P のリニューアルの検討	1. 新しい感覚による見たくなるホームページについて検討する。	→	→		継続実施。

平成 30 年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

			2. 公益社団法人としての情報掲載について検討する。				
		d インターネット（HP・SNS）の活用促進	1. インターネットを活用した病院の周知対策として、新たな発信方法を展開する。	→	→	→	継続実施。
		e 関係機関や地域への広報の実施	1. 多くの媒体を利用した広報対策について検討し実施する。	→	→	→	継続実施。
5 医師会共同利用施設活用への支援と利用促進							平成 30 年度 実施事業（計画） 及び 実施計画の変更点
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	備考	29	30	31	
1 会員が利用しやすい共同利用施設の運営	⑤会員が利用しやすい共同利用施設の設置と運営方法の検討	a より良い関係構築のための方策検討	1. 毎年の会員医訪問において改善点・要望を聴取し、必要な方策について検討する。	→	→	→	継続実施。
		b 会員ニーズの調査	1. 毎年の会員医訪問において改善点・要望を聴取し、事業部全体へフィードバックを行う。	→	→	→	継続実施。
		c 地域医療介護連携統括部との連携強化	1. 各事業部の利用動態について定期的に報告・協議を行い、連携を強化する。 2. 地域医療介護連携統括部内の相談員同士での情報交換を密にし、相互利用活性化を図る。	→	→	→	継続実施。
2 医師会会員と連携協働した経営対策の検討	③経営の点検評価、意見交換の実施	a 理事会での評価及び意見交換	1. 規程に基づく執行状況報告に合わせ、経営の点検評価を行う。	→	→	→	継続実施。
		b 総会での意見交換	1. 定期総会において経営について意見交換を行う。	→	→	→	継続実施。
	④安定した経営連携方策の検討	a 介護分野における、かかりつけ医との連携強化のための取組	1. 定期的に空床情報を送信し紹介を依頼する。	→	→	→	継続実施。
		b 他施設との顔の見える関係の構築	1. 紹介依頼を兼ねた定期的な訪問を継続する。	→	→	→	継続実施。
7 安定した経営基盤の確保							平成 30 年度 実施事業（計画） 及び 実施計画の変更点
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	備考	29	30	31	
6 介護老人保健施設の安定した経営	①入所系サービス・入所利用者の安定的確保	a「在宅強化型」の要件堅持及び入所稼働増加のための取組	1. 強化型要件の堅持による入所単価の維持と稼働増に努める。	→	→	→	継続実施。
		b幅広い高齢者を受け入れるための体制強化	1. リハビリテーション機能を活用し在宅復帰機能を強化する。 2. 緊急入所・レスパイト入所の受け入れに努める。	→	→	→	継続実施。

平成 30 年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

		c 変化する利用者動向に対応した運営の強化	1. 定期的な利用者ニーズ調査を継続実施する。 2. 圏域内に開設（含予定）された新施設の強みを検証し必要な対策について検討する。	→	→	→	継続実施。
		d リハビリテーション目的の利用者を増やすための取組	1. リハビリテーションマネジメント加算Ⅱの算定体制等リハ機能のレベルアップを継続実施する。	→	→	→	継続実施。
		e 接遇を含むケアレベルのアップ	1. くにさき苑事業部独自での看介護・訪問サービスに特化した接遇教育の取組を実施する。	→	→	→	継続実施。
	・短期入所を利用したレスパイトケアの受入	a 休日・夜間の緊急受入れのための体制確立	1. 体制の確立と並行して圏域内への周知を行う。	→	→	→	継続実施。
		b 広報活動の拡大・充実	1. 近隣施設・居宅事業所等へ訪問・PRを行い、積極的な利用を依頼する。 2. ホームページ・広報誌の充実を図る。	→	→	→	継続実施。
		c 地域のケアマネジャーへの空床利用依頼	1. 定期的空床情報の送信に加え、稼働低下時には随時利用依頼を行う。	→	→	→	継続実施。
	②通所系サービス ・特色のあるサービスの提供検討 (リハビリテーション機能強化等)	a 短時間通所リハビリテーションの検討	1. 定期的に調査し検討する。	→	→	→	継続実施。
		b リハビリテーション機能のあり方（強み）についての検討	1. リハビリテーションマネジメント加算Ⅱの算定体制を整備し算定件数の増加に努める。	→	→	→	継続実施。
		c 療養通所介護サービス開始の検討（訪問看護）	1. 看護小規模多機能居宅介護の設置について検討する。	→	×		
	③広報活動の展開	a 新たな広報活動の創出	1. 民生委員を招いて施設見学・紹介等を行う。 2. 地区振興センターの集会へ出向き、施設紹介等を行う。 3. オンラインでの広報活動を充実する。	→	→	→	継続実施。

8 人材の確保・育成と働きやすい職場づくり

平成 30 年度 実施事業（計画）
及び 実施計画の変更点

推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	備考	29	30	31	
1 計画的な人材の確保と育成 4) 職員の安定確保	①採用困難職種の採用促進	a 根拠に基づく適正な人員配置の設定	1. 不足する専門職の欠員を補うため、業務内容を整理し、補助員の雇用等を含めた定員の見直しを検討する。	→	→		継続実施。
		b 将来を見据えた採用計画を検討（機能再編・人口構造・職員の年齢構成等）	1. 上記定員の見直しを基に 5 年程度の採用計画を立てる。	→	→		継続実施。

平成 30 年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

	②採用活動の徹底	a 広報ツールを活用した情報発信	1. W E B、S N S、パンフレット等を活用した情報発信を行う。	→	→	→	継続実施。
		b 不断の採用活動の展開	1. 学校訪問、就職セミナーへの参加、ハローワーク等就職斡旋団体等を利用した採用活動を行う。	→	→	→	左記に加え、有料求人サイトの利用も都度検討。
		c 中高生への働きかけ強化と継続的な関係づくり	1. 早期に医療に興味を持ってもらうため、興味がある学生には早期に関係づくりを行っていく。	→	→	→	継続実施。
	③給与条件の検討	a 採用困難職種の初任給、各種手当等の見直し検討	1. 競争力のある初任給・手当等の設定について検討する。	→	→		継続実施。
		④採用方法の検証と改善	a 求める人材像の明確化	1. 採用基準・方法等を再検証して、必要な人材の確保に努める。	→	→	
	⑤多様な雇用の推進・検討	b 選考方法の検証と改善	1. 事務で行う適性検査について、試験結果と採用後の状況を検証し、他職種採用試験の改善を図る。	→	→	→	本部人事課にて継続実施。
		a 高齢者雇用、障害者雇用の推進	1. 業務の見直しを行い、多様な雇用を促進する。	→	→	→	継続実施。
		b 外国人雇用の検討	1. 介護職等の不足に備え検討し将来に備える。	→	→	→	継続実施。
9 計画に基づく必要な施設等の整備充実							平成 30 年度 実施事業（計画） 及び 実施計画の変更点
推進課題	対 応 方 針	実 施 計 画（評価指標）	備 考	29	30	31	
6 施設・設備の老朽化への対応	①整備計画の実行	a 益田市事業の検討と要望	1. 運営について年 1 回益田市と運営協議会を開催する。 2. 整備方針について益田市と協議する。	→	→	→	継続実施。 加えて機器整備等の負担について益田市と協議を進めて行く。
		b くにさき苑実施事業の調整と実行	1. 整備について調整し実施する。	→	→	→	継続実施。

平成 30 年度 運営について

区 分	目 標	実 施 計 画	
1 益田市立介護老人保健施設くにさき苑	数値目標（年間収入）	514,181,000 円	
1) 入所	数値目標	利用者予定数	68.0 人/日
2) 短期療養入所介護	数値目標	利用者予定数	19.0 人/日
3) 通所リハビリテーション	数値目標	利用者予定数	介護：35 人/日、介護予防：35 人/日
4) 訪問リハビリテーション	数値目標	利用者予定数	0 件/月

2. 益田市医師会訪問看護ステーション

中長期計画（実施計画）について

1 在宅を中心とした安心して住める環境づくり							平成 30 年度 実施事業（計画） 及び 実施計画の変更点
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	備 考	29	30	31	
1 社会保障制度の流れと地域の特性、ニーズに対応したシステムの整備・推進	②進展する高齢化社会における地域の医療・介護等への対応	a 地域のニーズの把握	1. 社会構造の変化に伴う地域のニーズについて把握する。	→	→	→	継続実施
		b「地域包括ケアシステム」の推進 ・益田市との意見交換 ・医師会の役割（方針）検討 ・体制等検討 ・関係事業の実施	1. 「地域包括ケアシステム」への対応（役割）と必要な体制について検討する。 2. 地域ケア会議等への参加を通して、医師会施設や活動を P R し利用の促進を図る。 3. 包括支援センター設置について役割を検討する。	→ → →	→	→	継続実施
		c 在宅医療・介護連携推進事業の推進 ・コア会議による益田市との調整 ・医師会実施事業について検討 ・体制等検討 ・事業の実施	1. 「在宅医療・介護連携推進事業」で医師会が実施する事業について検討し、必要な体制等を整備する。 2. 益田市主催のコア会議に提案・協議・調整する。	→ →	→	→	
	④医療と介護の地域連携システムの導入と運用	a 情報の共有化システム検討	1. 老健ケアマネジメント方式（R 4 システム）の導入について検討する。 2. 老健システム（電子カルテ化）について検討する。	→	→	→	
		b M C S（介護等の連携）、まめネット（医療機関同士の連携）の利用促進	1. 両機能をうまく使い分け、効率的な地域連携システムを構築し利用の促進を図る。	→	→	→	継続実施
	②医療・介護の有効な組み合わせ方策の検討	a 医療センター内の効率的な利用の促進	1. 通所リハの稼働を保ちつつ、利用者の効率的な回転を図る。	→	→	→	
3 医療度の高い利用者の在宅支援への検討		b「医療・介護同時報酬改定」の情報収集と対策の検討	1. 介護予防の通所サービスの在り方について検討する。	→	→	→	

平成 30 年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

4 推進体制の整備	①安定した経営基盤に立脚した地域支援推進体制の構築	b くにさき苑事業部における各事業所の運営方針の検討	1. 入所・短期入所利用率の向上及びホームヘルプ事業所・居宅介護支援事業所の業績の向上に取り組む。 2. 結果に基づき運営方針等について検討する。	→			
	②地域内完結率の向上	a 医師会内の連携強化 ・統括部内の連携体制の強化 ・病床カンファレンスの充実 ・退院支援体制の強化	1. 病床機能を最大限に有効活用できるシステムをつくる。 2. 地域内完結率向上意識の徹底を図る。	→	→	→	継続実施
		d 地域住民理解の推進 ・地域・学校での講演会 ・イベント等での P R 活動	1. 各種活動を通じ、在宅復帰等への理解を得る。	→	→	→	継続実施
2 医療機能再編への対応							平成 30 年度 実施事業（計画） 及び 実施計画の変更点
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	備考	29	30	31	
3 在宅医療への対応	①在宅医療への支援・検討	a 会員及び圏域ニーズ等の調査	1. 在宅医療への支援についてニーズ等調査を行う。	→			継続実施
		b 調査に基づく支援（必要性）の検討	1. 在宅医療への支援体制の必要性について検討する。 2. 常勤医による訪問診療機能・へき地診療機能の新設の必要性について検討する。 3. 訪問栄養食事指導体制について検討する。		→	→	継続実施
	③役割分担と必要な体制整備の検討（特殊機能病床の検討）	a 介護老人保健施設としての機能の強化	1. 在宅復帰機能強化型老健の堅持について 3 要件（在宅復帰率・回転率・重症度）の数値を常に管理し、体制を整備する。	→			
		b 入所待機者を見据えた受け入れ体制の構築		→	→	→	継続実施
3 医療・保健・福祉サービスの提供							平成 30 年度 実施事業（計画） 及び 実施計画の変更点
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	備考	29	30	31	
3 益田圏域の介護等ニーズへの対応	①介護事業の強化	a 在宅サービス事業所の機能強化	1. 在宅系事業所のマンパワー不足の解消及び新規利用者の掘り起しを行う。	→	→	→	継続実施
	⑤訪問看護ステーションの充実	a 他事業所（病院・施設・居宅等）との連携強化	1. 他事業所とのミーティング等による連携の強化を図る。	→	→	→	継続実施
		b ケアの質向上のための取組	1. 定期的な研修会・出張報告会等で標準化及び質の向上を図る。	→	→	→	継続実施

平成 30 年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

4 利用者サービスの向上と創出							平成 30 年度 実施事業（計画） 及び 実施計画の変更点
推進課題	対 応 方 針	実 施 計 画（評価指標）	備 考	29	30	31	
1 新たな利用者サービスの検討	①医師会独自のサービス提供の検討	a 会員・患者ニーズの調査	1．本部と協働してアンケート等を行い、ニーズを把握する。	→			継続実施
		b 医師会ネットワークを活かした新サービスの検討	1．上記調査に基づき可能なサービスについて検討する。	→	→		
4 情報発信、広報活動の実施と充実	①より効果のある広報活動の展開	a 広報活動体制の見直し	1．効率的でより効果のある広報活動が展開できる体制について検討し必要な見直しを行う。	→			継続実施
		b 情報誌（双葉他）の魅力化	1．魅力ある誌面作りについて検討する。	→	→		継続実施
		c H P のリニューアルの検討	1．新しい感覚による見たくなるホームページについて検討する。 2．公益社団法人としての情報掲載について検討する。	→	→		継続実施
		d インターネット（HP・SNS）の活用促進	1．インターネットを活用した病院の周知対策として、新たな発信方法を展開する。	→	→	→	継続実施
		e 関係機関や地域への広報の実施	1．多くの媒体を利用した広報対策について検討し実施する。	→	→	→	継続実施
5 医師会共同利用施設活用への支援と利用促進							平成 30 年度 実施事業（計画） 及び 実施計画の変更点
推進課題	対 応 方 針	実 施 計 画（評価指標）	備 考	29	30	31	
1 会員が利用しやすい共同利用施設の運営	⑤会員が利用しやすい共同利用施設の設置と運営方法の検討	a より良い関係構築のための方策検討	1．毎年の会員医訪問において改善点・要望を聴取し、必要な方策について検討する。	→	→	→	継続実施
		b 会員ニーズの調査	1．毎年の会員医訪問において改善点・要望を聴取し、事業部全体へフィードバックを行う。	→	→	→	継続実施
		c 地域医療介護連携統括部との連携強化	1．各事業部の利用動態について定期的に報告・協議を行い、連携を強化する。 2．地域医療介護連携統括部内の相談員同士での情報交換を密にし、相互利用活性化を図る。	→	→	→	継続実施
2 医師会会員と連携協働した経営対策の検討	②安定した経営連携方策の検討	a 介護分野における、かかりつけ医との連携強化のための取組	1．定期的に空床情報を送信し紹介を依頼する。	→	→	→	継続実施
		b 他施設との顔の見える関係の構築	1．紹介依頼を兼ねた定期的な訪問を継続する。	→	→	→	継続実施

平成 30 年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

7 安定した経営基盤の確保							平成 30 年度 実施事業（計画） 及び 実施計画の変更点
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	備考	29	30	31	
8 訪問看護ステーション等の安定した経営	①効率的な経営基盤の確立	a 病院、施設との連携強化	1. 病院・老健・在宅系事業所の連携を強化し、医療センター内の効率的な利用を促進する。 2. 患者・利用者の様態にあった施設利用を実現するための情報共有に努める。	→	→	→	継続実施
		b 独自のサービスの立案・推進	1. インフォーマルサービス提供（入院・入所中の外出支援等）について検討する。	→	→	→	継続実施
		c セラピスト訪問によるリハビリ提供の積極的な実施	1. セラピストの増員を検討し、訪問リハ実績の拡大を図る。	→	→		
	②訪問リハビリテーション	a 効率的な運営のための具体案立案	1. くにさき苑入所利用者への広報活動を実施する。 2. 医療センター内での潜在利用者の掘り起しを行う。	→	→	→	
		b 地域のニーズに対応するための具体策立案	1. 利用者の需要調査を継続実施する。 2. 圏域内の他事業所の事業を把握する。	→	→		
	③スタッフの充実	a 人員確保のための検討	1. 潜在看護師の掘り起し及び訪問看護を志向する職員の調査を行う。	→	→	→	継続実施 訪問看護での就業 P R 活動や研修会の開催
		b 人材の育成	1. 事業所内外を問わず研修の機会を継続して提供する。	→	→	→	継続実施 新卒訪問看護師の育成
	④広報活動の展開	a 新たな広報活動の創出	1. 民生委員を招いて事業所見学・紹介等を行う。 2. 地区振興センターの集会へ出向き、事業所紹介等を行う。 3. オンラインでの広報活動の充実に努める。	→	→	→	継続実施

平成 30 年度 運営について

区 分	目 標	実 施 計 画	
2. 益田市医師会訪問看護ステーション	数値目標（年間収入）	61,817,000 円	
	数値目標	介護利用者予定数	9.8 件/日
		予防利用者予定数	1.3 件/日
		医療利用者予定数	7.89 件/日

3. 益田市医師会居宅介護支援事業所

中長期計画（実施計画）について

1 在宅を中心とした安心して住める環境づくり							平成 30 年度 実施事業（計画） 及び 実施計画の変更点
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	備 考	29	30	31	
1 社会保障制度の流れと地域の特性、ニーズに対応したシステムの整備・推進	②進展する高齢化社会における地域の医療・介護等への対応	a 地域のニーズの把握	1. 社会構造の変化に伴う地域のニーズについて把握する。	→	→	→	・個別事例地域ケア会議から挙げた地域課題の集約 ・当組織の在宅 7 事業（居宅、地域包括、訪問リハ、訪問看護、訪問介護、通リハ、ショート）の担当者がそれぞれ把握しているものを集約。
		b「地域包括ケアシステム」の推進 ・益田市との意見交換 ・医師会の役割（方針）検討 ・体制等検討 ・関係事業の実施	1. 「地域包括ケアシステム」への対応（役割）と必要な体制について検討する。 2. 地域ケア会議等への参加を通して、医師会施設や活動を P R し利用の促進を図る。 3. 包括支援センター設置について役割を検討する。	→ → →	→ → →	→ → →	・個別事例地域ケア会議に毎回 1 名以上が参加し、事例に相応しい医師会事業を紹介する。
		c 在宅医療・介護連携推進事業の推進 ・コア会議による益田市との調整 ・医師会実施事業について検討 ・体制等検討 ・事業の実施	1. 「在宅医療・介護連携推進事業」で医師会が実施する事業について検討し、必要な体制等を整備する。 2. 益田市主催のコア会議に提案・協議・調整する。	→ →	→ →	→ →	継続実施
	④医療と介護の地域連携システムの導入と運用	a 情報の共有化システム検討	2. くにさき苑事業部 ・老健ケアマネジメント方式（R 4 システム）の導入について検討する。 ・老健システム（電子カルテ化）について検討する。	→	→	→	
		b M C S（介護等の連携）、まめネット（医療機関同士の連携）の利用促進	1. 両機能をうまく使い分け、効率的な地域連携システムを構築し利用の促進を図る。	→	→	→	継続実施
	3 医療度の高い利用者の在宅支援への検討	a 医療センター内の効率的な利用の促進	1. 通所リハの稼働を保ちつつ、利用者の効率的な回転を図る。	→	→	→	継続実施
		b「医療・介護同時報酬改定」の情報収集と対策の検討	1. 介護予防の通所サービスの在り方について検討する。	→	→	→	

平成 30 年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

4 推進体制の整備	①安定した経営基盤に立脚した地域支援推進体制の構築	bくにさき苑事業部における各事業所の運営方針の検討	1. 入所・短期入所利用率の向上及びホームヘルプ事業所・居宅介護支援事業所の業績の向上に取り組む。 2. 結果に基づき運営方針等について検討する。	→	→	→	・新設の地域包括支援センターからの紹介を受け易いように、柔軟性のある勤務体制の保持
	②地域内完結率の向上	a医師会内の連携強化 ・統括部内の連携体制の強化 ・病床カンファレンスの充実 ・退院支援体制の強化	1. 病床機能を最大限に有効活用できるシステムをつくる。 2. 地域内完結率向上意識の徹底を図る。	→	→	→	・在宅～病院の行き来の相談調整を一層にスムーズにできるよう、担当者間の連携強化
		d地域住民理解の推進 ・地域・学校での講演会 ・イベント等でのPR活動	1. 各種活動を通じ、在宅復帰等への理解を得る。	→	→	→	・依頼があれば対応し、地域住民への普及を図る
2 医療機能再編への対応							平成 30 年度 実施事業（計画） 及び 実施計画の変更点
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	備考	29	30	31	
3 在宅医療への対応	①在宅医療への支援・検討	a会員及び圏域ニーズ等の調査	1. 在宅医療への支援についてニーズ等調査を行う。	→			・当組織の在宅 7 事業（居宅、地域包括、訪問 ハ、訪問、訪問、通リハ、ショート）の担当者がそれぞれ把握しているものを集約、検討。
		b調査に基づく支援（必要性）の検討	1. 在宅医療への支援体制の必要性について検討する。 2. 常勤医による訪問診療機能・へき地診療機能の新設の必要性について検討する。 3. 訪問栄養食事指導体制について検討する。		→	→	
	③役割分担と必要な体制整備の検討 （特殊機能病床の検討）	a介護老人保健施設としての機能の強化	1. 在宅復帰機能強化型老健の堅持について 3 要件（在宅復帰率・回転率・重症度）の数値を常に管理し、体制を整備する。	→			
		b入所待機者を見据えた受け入れ体制の構築		→			
3 医療・保健・福祉サービスの提供							平成 30 年度 実施事業（計画） 及び 実施計画の変更点
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	備考	29	30	31	
3 益田圏域の介護等ニーズへの対応	①介護事業の強化	a在宅サービス事業所の機能強化	1. 在宅系事業所のマンパワー不足の解消及び新規利用者の掘り起しを行う。	→	→	→	・外来部門と連携し、要介護状態の未認定者の発見。
	⑥居宅介護支援事業所の充実	a行政や地域の状況を収集、把握するための取組	1. 益田市との定期情報交換会を継続して開催する。	→	→	→	・益田市が開催するケアマネ連絡会への職員出席
		b困難ケースの積極的な受入れのための取組			→	→	→

平成 30 年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

4 利用者サービスの向上と創出							平成 30 年度 実施事業（計画） 及び 実施計画の変更点
推進課題	対 応 方 針	実 施 計 画（評価指標）	備 考	29	30	31	
1 新たな利用者サービスの検討	①医師会独自のサービス提供の検討	a 会員・患者ニーズの調査	1．本部と協働してアンケート等を行い、ニーズを把握する。	→			・MCS の普及活動
		b 医師会ネットワークを活かした新サービスの検討	1．上記調査に基づき可能なサービスについて検討する。	→	→		
4 情報発信、広報活動の実施と充実	①より効果のある広報活動の展開	a 広報活動体制の見直し	1．効率的でより効果のある広報活動が展開できる体制について検討し必要な見直しを行う。	→			・見易さ（カラー刷等）、紙面充実の検討 ・配布範囲の検討
		b 情報誌（双葉他）の魅力化	1．魅力ある誌面作りについて検討する。	→	→		
		c H P のリニューアルの検討	1．新しい感覚による見たくなるホームページについて検討する。 2．公益社団法人としての情報掲載について検討する。	→	→		継続実施
		d インターネット（HP・SNS）の活用促進	1．インターネットを活用した病院の周知対策として、新たな発信方法を展開する。	→	→	→	継続実施
		e 関係機関や地域への広報の実施	1．多くの媒体を利用した広報対策について検討し実施する。	→	→	→	継続実施
5 医師会共同利用施設活用への支援と利用促進							平成 30 年度 実施事業（計画） 及び 実施計画の変更点
推進課題	対 応 方 針	実 施 計 画（評価指標）	備 考	29	30	31	
1 会員が利用しやすい共同利用施設の運営	⑤会員が利用しやすい共同利用施設の設置と運営方法の検討	a より良い関係構築のための方策検討	1．毎年の会員医訪問において改善点・要望を聴取し、必要な方策について検討する。	→	→	→	・在宅事業についての意見も聴取する
		b 会員ニーズの調査	1．毎年の会員医訪問において改善点・要望を聴取し、事業部全体へフィードバックを行う。	→	→	→	同上
		c 地域医療介護連携統括部との連携強化	1．各事業部の利用動態について定期的に報告・協議を行い、連携を強化する。 2．地域医療介護連携統括部内の相談員同士での情報交換を密にし、相互利用活性化を図る。	→	→	→	・退院調整 Ns の動き方の検討
2 医師会会員と連携協働した経営対策の検討	②安定した経営連携方策の検討	a 介護分野における、かかりつけ医との連携強化のための取組	1．定期的に空床情報を送信し紹介を依頼する。	→	→	→	・居宅への直紹介も可能なことを PR（認定申請代行も可）
		b 他施設との顔の見える関係の構築	1．紹介依頼を兼ねた定期的な訪問を継続する。	→	→	→	・同上

平成 30 年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

7 安定した経営基盤の確保							平成 30 年度 実施事業（計画） 及び 実施計画の変更点
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	備考	29	30	31	
7 居宅介護支援事業所の安定した経営	①利用者の安定的確保	a 新規利用者獲得策の立案	1. 市内事業所へ P R のための訪問を定期的に行う。 2. 介護保険新規申請者の獲得に努める。	→	→	→	・外来部門を連携し、要介護状態の未認定者の発見。
	②広報活動の展開	a 新たな広報活動の創出	1. 民生委員を招いて事業所見学・紹介等を行う。 2. 地区振興センターの集会へ出向き、事業所紹介等を行う。 3. オンラインでの広報活動を充実する。	→	→	→	・事業説明の実施
	③効率的な経営基盤の確立	a 効率的な運営具体案の実施	1. 地域包括ケアシステムの拠点センターの受託について検討する。 2. 効率的な事務処理について検討する。	→			
		b 職員配置の検証	1. ケアプラン件数の向上に努める。 2. ケアプラン増加に必要な人員配置の検討を行う	→	→	→	・安定ケースの確保方法を検討、実施（困難ケース以外）
		c ケアマネジャーの質の確保	1. 研修報告会等レベルの標準化について継続実施する。 1. 主任ケアマネフォローアップ研修等の受講により質の向上に努める。	→	→	→	・定期ミーティングで実施 ・受講する研修の厳選（県外も）

平成 30 年度 運営について

区 分	目 標	実 施 計 画	
3. 益田市医師会 居宅介護支援事業所	数値目標（年間収入）	23,040,000 円	
	数値目標	介護利用者予定数	120 件/月
		予防利用者予定数	0 件/月

4. 益田市医師会ホームヘルプ事業所

中長期計画（実施計画）について							
1 在宅を中心とした安心して住める環境づくり						平成 30 年度 実施事業（計画） 及び 実施計画の変更点	
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	備 考	29	30	31	
1 社会保障制度の流れと地域の特性、ニーズに対応したシステムの整備・推進	②進展する高齢化社会における地域の医療・介護等への対応	a 地域のニーズの把握	1. 社会構造の変化に伴う地域のニーズについて把握する。	→	→	→	継続実施
		b「地域包括ケアシステム」の推進 ・益田市との意見交換 ・医師会の役割（方針）検討 ・体制等検討 ・関係事業の実施	1. 「地域包括ケアシステム」への対応（役割）と必要な体制について検討する。 2. 地域ケア会議等への参加を通して、医師会施設や活動を P R し利用の促進を図る。 3. 包括支援センター設置について役割を検討する。	→ → →	→ → →	→ → →	継続実施
		c 在宅医療・介護連携推進事業の推進 ・コア会議による益田市との調整 ・医師会実施事業について検討 ・体制等検討 ・事業の実施	1. 「在宅医療・介護連携推進事業」で医師会が実施する事業について検討し、必要な体制等を整備する。 2. 益田市主催のコア会議に提案・協議・調整する。	→ →	→ →	→ →	継続実施
	④医療と介護の地域連携システムの導入と運用	a 情報の共有化システム検討	2. くにさき苑事業部 ・老健ケアマネジメント方式（R 4 システム）の導入について検討する。 ・老健システム（電子カルテ化）について検討する。	→	→	→	
		b M C S（介護等の連携）、まめネット（医療機関同士の連携）の利用促進	1. 両機能をうまく使い分け、効率的な地域連携システムを構築し利用の促進を図る。	→	→	→	継続実施
	②医療・介護の有効な組み合わせ方策の検討	a 医療センター内の効率的な利用の促進	1. 通所リハの稼働を保ちつつ、利用者の効率的な回転を図る。	→	→	→	継続実施
3 医療度の高い利用者の在宅支援への検討		b「医療・介護同時報酬改定」の情報収集と対策の検討	1. 介護予防の通所サービスの在り方について検討する。	→	→	→	

平成 30 年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

4 推進体制の整備	①安定した経営基盤に立脚した地域支援推進体制の構築	b くにさき苑事業部における各事業所の運営方針の検討	1. 入所・短期入所利用率の向上及びホームヘルプ事業所・居宅介護支援事業所の業績の向上に取り組む。 2. 結果に基づき運営方針等について検討する。	→	→	→	継続実施
	②地域内完結率の向上	a 医師会内の連携強化 ・統括部内の連携体制の強化 ・病床カンファレンスの充実 ・退院支援体制の強化	1. 病床機能を最大限に有効活用できるシステムをつくる。 2. 地域内完結率向上意識の徹底を図る。	→	→	→	継続実施
		d 地域住民理解の推進 ・地域・学校での講演会 ・イベント等での P R 活動	1. 各種活動を通じ、在宅復帰等への理解を得る。	→	→	→	継続実施
2 医療機能再編への対応							平成 30 年度 実施事業（計画） 及び 実施計画の変更点
推進課題	対 応 方 針	実 施 計 画（評価指標）	備 考	29	30	31	
3 在宅医療への対応	①在宅医療への支援・検討	a 会員及び圏域ニーズ等の調査	1. 在宅医療への支援についてニーズ等調査を行う。	→	→		継続実施
		b 調査に基づく支援（必要性）の検討	1. 在宅医療への支援体制の必要性について検討する。 2. 常勤医による訪問診療機能・へき地診療機能の新設の必要性について検討する。 3. 訪問栄養食事指導体制について検討する。		→	→	新規実施
3 医療・保健・福祉サービスの提供							平成 30 年度 実施事業（計画） 及び 実施計画の変更点
推進課題	対 応 方 針	実 施 計 画（評価指標）	備 考	29	30	31	
3 益田圏域の介護等ニーズへの対応	①介護事業の強化	a 在宅サービス事業所の機能強化	1. 在宅系事業所のマンパワー不足の解消及び新規利用者の掘り起しを行う。	→	→	→	継続実施
	⑦ホームヘルプ事業所の充実検討	a ケアの質向上のための取組	1. 他事業所との差別化として早朝・夜間訪問を開始する。	→	×	→	新人職員のスキル不足と、非常勤職員の不足（現行職員については、早朝夜間の勤務を希望せず）により、今年度中の開始は困難。
4 利用者サービスの向上と創出							平成 30 年度 実施事業（計画） 及び 実施計画の変更点
推進課題	対 応 方 針	実 施 計 画（評価指標）	備 考	29	30	31	
1 新たな利用者サービスの検討	①医師会独自のサービス提供の検討	a 会員・患者ニーズの調査	1. 本部と協働してアンケート等を行い、ニーズを把握する。	→			
		b 医師会ネットワークを活かした新サービスの検討	1. 上記調査に基づき可能なサービスについて検討する。	→	→		継続実施

平成 30 年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

4 情報発信、広報活動の実施と充実	①より効果のある広報活動の展開	a 広報活動体制の見直し	1. 効率的でより効果のある広報活動が展開できる体制について検討し必要な見直しを行う。	→			
		b 情報誌（双葉他）の魅力化	1. 魅力ある誌面作りについて検討する。	→	→		継続実施
		c H P のリニューアルの検討	1. 新しい感覚による見たくなるホームページについて検討する。 2. 公益社団法人としての情報掲載について検討する。	→	→		継続実施
		d インターネット（HP・SNS）の活用促進	1. インターネットを活用した病院の周知対策として、新たな発信方法を展開する。	→	→	→	継続実施
		e 関係機関や地域への広報の実施	1. 多くの媒体を利用した広報対策について検討し実施する。	→	→	→	継続実施
5 医師会共同利用施設活用への支援と利用促進							平成 30 年度 実施事業（計画） 及び 実施計画の変更点
推進課題	対 応 方 針	実 施 計 画（評価指標）	備 考	29	30	31	
1 会員が利用しやすい共同利用施設の運営	⑤会員が利用しやすい共同利用施設の設置と運営方法の検討	a より良い関係構築のための方策検討	1. 毎年の会員医訪問において改善点・要望を聴取し、必要な方策について検討する。	→	→	→	継続実施
		b 会員ニーズの調査	1. 毎年の会員医訪問において改善点・要望を聴取し、事業部全体へフィードバックを行う。	→	→	→	継続実施
		c 地域医療介護連携統括部との連携強化	1. 各事業部の利用動態について定期的に報告・協議を行い、連携を強化する。 2. 地域医療介護連携統括部内の相談員同士での情報交換を密にし、相互利用活性化を図る。	→	→	→	継続実施
2 医師会会員と連携協働した経営対策の検討	②安定した経営連携方策の検討	a 介護分野における、かかりつけ医との連携強化のための取組	1. 定期的に空床情報を送信し紹介を依頼する。	→	→	→	稼働困難で 29 年度は実施していない。 常勤 3 人体制になる 8 月以降を目途に開始。
		b 他施設との顔の見える関係の構築	1. 紹介依頼を兼ねた定期的な訪問を継続する。	→	→	→	継続実施
7 安定した経営基盤の確保							平成 30 年度 実施事業（計画） 及び 実施計画の変更点
推進課題	対 応 方 針	実 施 計 画（評価指標）	備 考	29	30	31	
9 ホームヘルプ事業所の安定した経営	①利用者の安定的確保	a 新規利用者獲得策の立案	1. 市内事業所へ定期的に訪問し P R に努める。	→	→	→	継続実施

平成 30 年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

	②広報活動の展開	a 新たな広報活動の創出	1. 民生委員を招いて事業所見学・紹介等を行う。 2. 地区振興センターの集会へ出向き、事業所紹介等を行う。 3. オンラインでの広報活動の充実に努める。	→	→	→	継続実施
	③効率的な経営基盤の確立	a 効率的な運営具体案の実施	1. 効率的な事務処理について検討する。	→	→	→	継続実施
	④スタッフの充実	a 人材確保のための検討	1. 処遇等も含め、人材の確保方策について検討する。	→			

平成 30 年度 運営について

区 分	目 標	実 施 計 画	
4. 益田市医師会 ホームヘルプ事業所	数値目標（年間収入）	17,425,000 円	
	数値目標	利用者予定数（身体介護）	19.2 件/日
		利用者予定数（生活介護）	1 件/日

公的目的事業 1 地域医療の質的向上・体制整備を図り、住民の健康増進及び地域社会の健全な発展に寄与する事業

平成 30 年度 運営について

(1) 開放型・地域医療支援病院・地域医療拠点病院・診療所の運営				
区 分	目 標	実 施 計 画		
3、益田市国民健康保健診療施設 美都診療所	経営の安定化	1. 引き続き、地域住民のニーズに基づく、安定した運営に努める 2. 小児の（発達・先進）領域の推進に努める 3. 全国に向けて学会発表を行う。		
	数値目標（年間収入）	31,000,000 円		
	数値目標	患 者 数	18.5 人/日	
		診療単価	5,800 円/人	

中長期計画（実施計画）について

8 人材の確保・育成と働きやすい職場づくり							平成 30 年度 実施事業（計画） 及び 実施計画の変更点
推進課題	対 応 方 針	実 施 計 画（評価指標）	備 考	29	30	31	
1 計画的な人材の確保と育成 1) 会員医師の生涯教育の推進と技術の向上	①医療技術の生涯教育への支援	a 医療技術に関する情報提供及び研修の実施	1. 学術講演会及び病院主催の技術研修会の開催等の実施。	→	→	→	適宜実施する
3) 医師の求人活動	①医師確保対策 ・医師招聘に必要な条件の整備	a 勤務病院選定理由等調査・分析	1. 医師求人活動に併せた聞き取り等により情報を収集し、必要な条件整備について検討する。	→	→	→	病院事業部と協働し実施する
		b 医師確保条件整備の検討	1. 上記、検討に基づき必要な整備を行う。	→	→	→	病院事業部と協働し実施する
		c 島根県（医師確保対策室）への働きかけと連携強化	1. 医師確保対策室等に対し、常に働きかける。	→	→	→	病院事業部と協働し実施する
		d 島根大学等への働きかけと連携強化	1. あらゆる機会を利用し、医師の派遣について働きかける。	→	→	→	病院事業部と協働し実施する
		e 卒後教育・研修プログラムの検討	1. 医師研修制度の変化等を見ながら検討を継続する。	→	→	→	病院事業部と協働し実施する

平成 30 年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

		f 学会認定施設の取得を目指す	1. 医師研修制度の変化等を見ながら検討を継続する。	→	→	→	病院事業部と協働し実施する
	・地元出身医師へのアプローチ	a 地元出身医師実態調査	1. 引き続き、地元（高校）出身の医師の状況について調査を行う。	→	→	→	病院事業部と協働し実施する
		b 訪問体制の整備（行政、医師会、病院等）	1. 情報等に基づき、ケースに応じ早急に対応できる体制について検討する。	→			
		c 医師へのコンタクト実施	1. 機会を見つけ継続する取り組みを行う。	→	→	→	病院事業部と協働し実施する
	・行政との連携強化	a 一般社団法人「しまね地域医療支援センター」等との連携	1. 事業への協力と情報の収集に努める。	→	→	→	適宜訪問等を行い情報交換を行う
	・医師研修先として選定される条件の整備	a 研修先選定理由等調査・分析	1. 大学・行政から情報収集を行なう。	→	→	→	病院事業部と協働し実施する
		b 医師研修条件整備の検討	1. 研修先としての魅力のある育成体制について検討する。	→	→	→	親父の背中プログラム支援委員会にて課題の抽出と改善を図る。
		c 医療実習生との情報交換		→	→	→	病院事業部と協働し実施する
	・大学との連携の強化	a 関係構築方法（戦略）等検討	1. あらゆるチャンネルを活用し連携に努める。	→	→	→	病院事業部と協働し実施する
	・医師の交流・ネットワークづくり	a 交流事例等調査		→	→	→	病院事業部と協働し実施する
		b 交流・ネットワークづくり検討	1. 益田高校出身医師による益田医局会等も含め検討し推進する。	→	→		病院事業部と協働し実施する
	・医師の処遇の検討	a 実態調査	1. 他病院等における状況について調査する。	→			（他病院への調査は未実施）
		b 処遇見直し検討	1. 調査内容について分析する。 2. 就職希望医師の雇用形態別処遇について検討する。 3. 当院にあった雇用形態のあり方について検討する。	→	→		H30 年度より赴任する医師（親父の背中プログラム）の処遇・雇用形態を基準として協議を進める
	・「親父の背中プログラム」の推進	a 勤務医師の確保対策	1. ゲネプロと共同で医師会病院と連携し「親父の背中プログラム」事業を推進する。		→	→	ワークショップの開催 ゲネプロとの連携 「親父の背中プログラム」支援委員会による支援
4) 職員の安定確保	①採用困難職種の採用促進	a 根拠に基づく適正な人員配置の設定	1. 不足する専門職の欠員を補うため、業務内容を整理し、補助員の雇用等を含めた定員の見直しを検討する。	→	→		不足人員に対し、補助員の配置や夜勤専従職員の配置により負担緩和を進める

平成 30 年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

		b 将来を見据えた採用計画を検討 (機能再編・人口構造・職員の年齢構成等)	1. 上記定員の見直しを基に 5 年程度の採用計画を立てる。	→	→		ビジョン委員会等で協議する地域医療構想や介護療養病床廃止等の対応方針を踏まえて検討を行う
	②採用活動の徹底	a 広報ツールを活用した情報発信	1. WEB、SNS、パンフレット等を活用した情報発信を行う。	→	→	→	継続実施
		b 不断の採用活動の展開	1. 学校訪問、就職セミナーへの参加、ハローワーク等就職斡旋団体等を利用した採用活動を行う。 2. 職員の伝手を頼った採用活動を行う。	→	→	→	継続実施 訪問活動等により進路指導担当者等への働きかけを強化する。 職員紹介制度を活用し職員確保を行う
		c 中高生への働きかけ強化と継続的な関係づくり	1. 早期に医療に興味を持ってもらうため、興味がある学生には早期に関係づくりを行っていく。	→	→	→	中高生向けの企業説明会に参加する 医療体験・実習の受入時に修学資金制度の資料配布を行う
	③給与条件の検討	a 採用困難職種の初任給、各種手当等の見直し検討	1. 競争力のある初任給・手当等の設定について検討する。	→	→	→	収益状況等も考慮しながら検討を継続する
	④採用方法の検証と改善	a 求める人材像の明確化	1. 採用基準・方法を再検証して、必要な人材の確保に努める。	→			
		b 選考方法の検証と改善	1. 事務で行う適性検査について、試験結果と採用後の状況を検証し、他職種採用試験の改善を図る。	→	→	→	継続実施
	⑤多様な雇用の推進・検討	a 高齢者雇用、障害者雇用の推進	1. 業務の見直しを行い、多様な雇用を促進する。	→	→	→	継続実施
		b 外国人雇用の検討	1. 介護職等の不足に備え検討し将来に備える。	→	→	→	六日市学園の留学生等の状況も含め、情報収集を継続する
5) 人材の育成、確保	①キャリア形成の支援	a 相談体制の整備検討	1. キャリアコンサルタントによるキャリアドック制度の導入等について検討する。	→			人員体制上、キャリアコンサルタント養成が困難なため当面中止とする
		b キャリアコンサルタント資格取得者の養成検討	1. キャリア形成のための相談体制等を担う役として養成について検討する。	→	×		人員体制上、養成が困難なため中止とした
		c 自己啓発促進のための支援策の導入	1. 自己啓発に取り組む環境の醸成のため、経費の補助や休暇制度等の導入について検討する。	→	→		公的支援制度の利用も含め各種支援制度の導入に向け協議を継続する
	②管理職教育（経営・組織運営、労働基準法、労働安全衛生法、人権、ハラスメント	a 管理職登用前の教育検討と制度化	1. 適性を見極め課長補佐・主任等を対象とした適切な教育制度を構築するを実施する。（他法人等への派遣研修を含む） 2. 計画的な研修制度を構築し、定期的な研修を実施する。	→	→	→	基金事業を活用した先進地での長期研修派遣を実施する 適宜開催される外部研修へ参加を促す

平成 30 年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

	他)の推進	b 管理職研修の実施	1. 管理職への教育・研修を継続して実施する。	→	→	→	基金事業を活用した先進地での長期研修派遣を実施する
	③職員教育体制の構築	a 共通事項（労働基準法、労働安全衛生法、人権、ハラスメント他）の教育検討と制度化	1. 職業人として必要な諸制度についての教育方法について検討し制度化する。	→			
		b 職種別の教育検討と制度化	1. 職種別の教育方法について検討し制度化する。	→	→		各事業部で協力し検討する
6) 研修生、実習生の受入れ体制の整備	①実習担当者の育成	a 実習担当者の計画的養成	1. 石見高等看護学院等実習生の指導者を計画的に養成する。	→	→	→	継続実施
	②研修生、実習生の受入れの促進	a 魅力ある実習環境の整備	1. ソフト面での充実を行う。	→	→	→	継続実施
7) 医学生・看護学生への就学支援	①奨学金制度の活用促進	a 修学資金制度の検証と見直し検討	1. 修学資金貸付対象者等、制度の見直しを行う。	→			完了（福祉系高校対象を新設）
		b P R 活動の実施	1. ホームページ・求人ちらし等において P R に努める。	→	→	→	継続実施 学校訪問等により進路指導担当教員への働きかけを強化する
	②石見高等看護学院との連携強化	a 人事交流の推進、非常勤講師の充実	1. 引き続き定期的な人事交流と必要な非常勤講師の確保に努める。	→	→	→	継続実施
		b 意見交換会の実施		→	→	→	継続実施
2 働きやすい職場環境づくり	①安心・安全・健全に働ける職場づくりの検討と推進	a ハラスメント対策・体制の整備	1. 体制等を整備しハラスメント（パワハラ・セクハラ・マタハラ等）のない職場づくりを目指す。	→	→	→	管理職へのハラスメント研修の実施 職員への周知徹底（冊子等の配布）
		b 職員の健康保持・増進活動の充実	1. 健康管理活動を推進する。（健診、禁煙サポート等） 2. 心の健康づくり活動（ストレスチェック、カウンセリング、職場復帰プログラム等）を推進する。	→	→	→	継続実施
		c 福利厚生活動の見直し	1. 制度の見直しについて検討する。 2. 企業年金等福利厚生活動について職員への周知徹底を図る。	→	→	→	継続実施
		d 安心・安全・健全職場環境づくりの推進	1. 衛生委員会等の活動を通じて、継続して職場環境の保持・改善を目指す。	→	→	→	休憩所等の整備などを検討する 作業負担軽減を重視した物品の採用を検討する

平成 30 年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

	②女性が活躍できる 職場環境づくりの 推進	a 仕事と育児・介護の両立を支援する環境の整備	1. 育児・介護関連休暇制度が取りやすい環境づくりを行う。	→	→	→	継続実施 夜勤専従制度を作り、職員の夜勤負担の軽減を図る
		b 職員保育所の安定運営	1. 保育所運営ルールの順守と安定した運営により安心して働ける職場作りに努める。	→	→	→	継続実施
		c ワークライフバランスの推進	1. 時間外・休日労働の削減、有給休暇の取得促進（計画付与）などの徹底を図る。	→	→	→	継続実施
	③多様な働き方に対応できる雇用 制度の検討・整備	a 限定正職員（夜勤のできない看護職）、短時間正職員（フルタイムで働けない職員）等の雇用制度を検討	1. 働き続けられる制度の整備について検討する。 2. 給与条件等必要な制度設計について検討する。	→	→		検討を継続 需給バランスが崩れないよう夜勤専従制度等での職員確保を優先する
		b 有期契約職員の無期転換への対応	1. 無期転換後の雇用条件等を H29 年度中に整理する。	→			
		c 定年退職の延長、再雇用制度の見直し検討	1. 定年時期の延長について検討する。 2. 再雇用制度について検討する。（再雇用期限や再雇用条件等）	→	→	→	雇用情勢も踏まえ検討を継続
3 労働意欲の向上につながる人事、給与制度の検討	①人事考課制度の 検証と見直し	a 組織・職務に合わせた評価体系（評価者）の整理	1. 組織の多様化等に伴う適正な評価方法について検討する。	→			
		b 評価指標（特に管理職）の整理・検討	1. 管理職を対象として、評価指標の作成もしくは成果連動などについて検討する。	→			
		c 公平・適正な人事考課の実行及び考課者への教育	1. 公平・適正な運用を目的とした考課者の教育を実施する。	→	→	→	新任役職者への研修を実施する
	②人事異動方針に基づく適正な人事異動の実施と評価	a 人事異動方針に基づく人事異動の適宜実施		→	→	→	継続実施
		b 昇任・昇格基準の整理	1. 職能等級の昇格、役職登用において、一定の基準（試験や研修など）を設けることについて検討する。	→	→		検討を継続する
		c 人事異動後の定期的な評価（アセスメント評価導入）	1. 異動・昇任などの後、一定期間後に評価する仕組みを検討する。（360 度評価などの導入を想定）	→	×		費用対効果により当面未実施とする
		d 女性管理職の育成	1. 女性活躍推進に向け、キャリアモデルとなる将来の管理職候補を育成する。（研修への派遣やプロジェクトへの積極登用等）	→	→	→	

平成 30 年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

	③適正な給与制度 の検討・整備	a 職務職階制に応じた適正な給与 制度の検討	1. 主任級の扱いについて検討する。 収益の状況と人件費全体のバランスを考慮し検討する。	→	→	→	収益の状況、人材確保面の双方から、人件費全 体のバランスを考慮し検討を継続する
		b 多様な働き方に合わせた給与制 度の検討	1. 正職員とのバランス、賞与・退職金の扱いなどについて 検討する。 2. 退職金なども含めた給与体系全般の見直しについて 検討する。	→	→		検討を継続
		c 業務に必要な資格等の取得に伴 う処遇改善の検討	1. 資格の種類、必要性、責任等を含め検討する。	→	→		業務に必要な資格取得に対する処遇改善につい て継続して検討する
		d 職種転換時の給与設定ルール の検討	1. 職種間を異動する場合の給与表変更の取扱いについ て検討する。	→	→		検討を継続
4 島根県立石見 高等看護学院の管 理・運営 1) 島根県との緊 密な連携	①適切な情報交換 と意見交換の実 施	a 定期意見交換会（運営方針、 事業計画、課題等）の実施	1. 定期的な会のみならず様々な機会を捉え情報交換を 行い、県との緊密な連携が図られるよう努める。 2. 内容については教職員間で情報共有する。	→	→	→	継続実施
		b 県と連携して共に各種事業を実 施 ・オープンキャンパス ・入学試験 ・学生と現場看護師との交流会	1. 県立の高等教育機関として、情報交換を密にし、効 果的な事業等に取り組む。	→	→	→	継続実施
		c 教員との意見交換	1. 教育現場の課題や推進方策等の意志疎通を図る為 の意見交換のあり方について検討を実施する。	→	→	→	教育現場での課題等について、県担当者との率直 な意見交換の場を具体的に設ける。
2) 入学定員の確 保	①看護師国家試験 高合格率の維持	a 学年教育計画の立案	1. 学生の主体性や判断力等を検証し、更に教育方法 を検討しながら学年教育計画に組み入れる。	→	→	→	継続実施
	②広報活動の展開	a ホームページ・ブログの充実検討	1. 内容等を充実し広報手段として積極的に活用する。	→	→	→	継続実施
		b 小中高校生との交流推進 ・学院見学 ・出前授業 ・その他	1. 引き続き取組の充実に努める。	→	→	→	継続実施
		c ひとまるビジョンの活用検討	1. 積極的な取材要請等を行う。 2. 学生広報委員会の参画を得て、活用について検討 広報報番組を企画、提案する。	→	→	→	活用の検討から、具体的な活用に向けた積極的な 企画、提案を行う。

平成 30 年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

	③ 学生募集活動の促進	a オープンキャンパス・見学会の充実検討	1. 前年度の検証等を踏まえ、取組内容の充実に努める。	→	→	→	継続実施
		b ガイダンスへの積極的参加	1. 積極的な参加に努める。	→	→	→	継続実施
		c 県内の高校訪問の実施	1. 双方向の情報交換ができるよう内容の充実に努める。	→	→	→	継続実施
		d 入学試験のあり方検討	1. 他の教育機関等の情報収集に努める。 2. 魅力ある入試制度について不断の検討を行う。	→	→	→	継続実施
	④ 更なる魅力アップの検討	a 国試の高合格率の維持	1. 学習意欲の向上、模擬試験の計画的な実施等全教員が一丸となった取組を展開する。	→	→	→	継続実施
		b 学校関係者評価の実施	1. 外部評価委員に対し教育活動への理解に努める。 2. 評価結果の公表のあり方や改善方策等について検討する。	→	→	→	継続実施
		c 学院キャラクター（あゆみん）の活用	1. 「あゆみん」の効果的活用について引き続き検討する。 2. 予算措置等について検討する。	→	→	→	継続実施
		d 技術シミュレーションルームの活用	1. 利用しやすい環境や備品等の充実にについて不断の検討を行う。	→	→	→	継続実施
		e 学生メリット施策の検討	1. 他事例等を参考にし、学生資質向上等のための施策について検討する。	→	→	→	継続実施
		f 協同学習の定着と発展	1. 定着と更なる発展を目指す。	→	→	→	継続実施
		G ICT を活用した教育の検討	1. 学習効果が期待できる教育ツールとして、タブレット端末を活用した教育プログラムの検討を行う。		→	→	必要な情報の収集と検討を行う
	⑤ 4 年制大学への検討	a 情報の収集（養成所の 4 年制化含む）	1. 情報の収集に努める。 2. 3 年制養成所の 4 年制化の動向について情報収集を行う。	→	→	→	継続実施
		b 島根県立大学との連携	1. 様々な機会を通じて情報交換を行う。	→	→	→	継続実施
		c 要望等活動の展開	1. 必要に応じ対応を検討する。	→	→	→	継続実施
3) 必要な看護教員・講師の確保	① 関係機関との連携協働による看護教員の育成・確保	a 益田医師会病院との連携	1. 人材発掘や教員資格取得等について連携して取り組む。	→	→	→	継続実施
		b 県立中央病院・益田赤十字病院との人事交流検討	1. 島根県の参画を得ることなども含め検討する。	→	→	→	継続実施

平成 30 年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

		c 看護教員適任者の発掘と勧奨	1. 医師会病院を中心に関係諸機関に対し、教員希望者の発掘と派遣要請等働きかけを行う。	→	→	→	継続実施
		d 看護教員資格取得への支援	1. 関係諸機関と連携しながら教員希望者の資格取得にむけ支援を行う。	→	→	→	継続実施
	② 講師の負担軽減策の検討と実施	a 講師の確保	1. 授業の時期や授業時間等を工夫するなど柔軟な対応について検討する。	→	→	→	継続実施
		b 遠隔授業の実施	1. 講師の要請に基づき実施する。	→	×	×	遠隔授業については、当面実施しない。
		c 講師要望等の把握	1. 講師の要望等を把握し、負担軽減に努める。	→	→	→	継続実施
		d 講師料のあり方（再・追試料等含む）検討	1. 他の事例やあり方について情報収集を行い検討する。	→	→	→	継続実施
	4）看護教員の教授力の向上	① 研修機会の増と、効果的な研修の実施	a 島根県教員継続研修の受講推進	1. 引き続き参加に努める。	→	→	→
b 教員指導力向上対策（研修会等）の実施			1. 実習施設の指導者が参加しやすい日程を組むなど工夫し実施する。	→	→	→	継続実施
c 研修への参加支援			1. 引き続き積極的に参加できるよう支援に努める。	→	→	→	継続実施
② 臨床現場研修の実施		a 短期臨床研修の実施	1. 業務調整等に配慮し引き続き実施に努める。	→	→	→	継続実施
		b 長期臨床研修の実施	1. 教員体制や対象教員の負担等を検討し、実施に努める。	→	→	→	継続実施
③ 自己研鑽への支援とモチベーションの向上推進		a キャリア別達成目標の運用・実施	1. 「専任教員のキャリア別達成目標（ラダー）」のブラッシュアップについて検討する。	→	→	→	継続実施
		b 自己研鑽支援休暇制度等の活用促進	1. 制度の理解と必要な体制等も含め検討する。	→	→	→	継続実施
④ 学会等への積極的参加		a 学会活動の支援	1. 日程等、可能な範囲で積極的に参加するように努める。	→	→	→	継続実施
		b 教員研究の促進	1. 研究活動を促進する。 2. 必要な経費（文献収集や実験経費等）について検討する。	→	→	→	継続実施

平成 30 年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

5) 学院環境の整備	① 学び舎として快適環境の整備	a 学生美化意識の高揚	1. 学舎や地域への愛着心と美化意識の高揚に努める。	→	→	→	継続実施
		b 学生アンケートの実施	1. 年 1 回の学生アンケートを実施する。	→	→	→	継続実施
		c 植栽樹等の適正管理	1. 適正な維持管理を行う予算を確保する。	→	→	→	継続実施
		d 危機管理マニュアル作成の検討	1. 様々な危機に対応したマニュアルを計画的に作成する。	→	→	→	継続実施
	② 常時点検による適切な整備の実施	a 施設・備品設備のチェック（毎年度）	1. 施設の計画的な修繕（維持管理）が実施できるよう県と調整し、備品・設備を計画的に更新できるよう予算確保に努める。	→	→	→	継続実施
6) 地域への貢献	① 卒業生の県内就業率の向上	a 県内病院の魅力を伝える ・病院募集要項の紹介 ・県内病院の奨学金制度の紹介 ・現場の看護師との交流会の実施 ・地域推薦入学者と推薦市町村との交流促進 ・各病院紹介用 DVD の貸出し	1. 医療施設や市町村との連携を深め、県内就職率の向上を図る。 2. 様々な場を通じて県内病院の魅力を学生に伝えるよう努める。	→	→	→	継続実施
		b 卒業生のホームカミングデイの実施	1. 出席しやすい環境の醸成と効果的な実施内容について検討する。 2. 就業先等関係者への理解促進に努める。	→	→	→	継続実施
		c 市内病院職員のサークル活動への参加	1. 学生の移動手段について検討する。	→	×	×	検討した結果、実施は困難であり中止とする。
	② 地域貢献策の検討	a ボランティア活動への参加	1. 学業との調整をとりながら協力できる範囲で参加するように誘引する。 2. ボランティア参加によるポイント制等の学生メリット施策について、財源も併せ検討する。	→	→	→	継続実施
		b 学院イベントへの住民参加促進	1. 多くの住民参加が得られるよう企画を検討する。	→	→	→	継続実施
		c コミュニティ行事への積極的参加	1. 可能な範囲で積極的に参加するように努める。	→	→	→	継続実施
		d 健康教室・看護技術の公開講座の開催検討	1. 益田市等関係者と協議・連携しながら効果的な実施に努める。	→	→	→	継続実施

平成 30 年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

	e 体育館等施設の貸出し	1. 学院本来の目的（学校教育、学生使用）で使 ない期間に限り、県民への貸出を行い地域貢献に資 するよう努める。	→	→	→	継続実施
--	--------------	--	---	---	---	------

平成 30 年度 運営について

(2) 医師・看護師等、医療人材の育成・確保に関する活動						
区 分	目 標	実 施 計 画				
1) 医師・看護師・薬剤師等に向けた学術講演会の開催及び助成	医学の振興及び医師の生涯教育の推進や、医師会職員の技術の向上	多職種連携、在宅医療・介護連携研修会の企画立案・実施				
2) 看護学校（県立石見高等看護学院：看護学科3年課程）の運営	数値目標	入学者定員 40人確保				
		県内就業率 90%以上				
3) 医師、薬剤師、看護師等の養成・確保のための支援	医師・薬剤師、看護師等確保対策	中長期計画にて実施				
4) 医師会職員の働きやすい環境づくりへの支援	益田市医師会職員保育所の運営・管理	安定した運営に努める ・補助金（県）の取得継続 ・感染防止、危険防止 ・保護者とのコミュニケーションの充実				
	職員が安心できる雇用体制の確保	中長期計画にて実施				

中長期計画（実施計画）について

6 地域社会への貢献							平成 30 年度 実施事業（計画） 及び 実施計画の変更点
推進課題	対 応 方 針	実 施 計 画（評価指標）	備 考	29	30	31	
1 大規模事故・災害時の援助体制の整備充実	①大規模事故・災害援助体制の確立と支援体制の整備	a 災害時の益田市医師会の役割の確定 ・益田地域災害医療対策会議への参加	1. 引き続き災害時の支援体制について協議・検討する。	→	→	→	継続実施
		b 大規模事故・災害時の連絡体制の確立と通信方法の確保	1. 行政等関係機関を含めて連絡網等の整備と周知を行う。	→	→	→	益田地域災害医療対策会議において情報交換に努め、必要な連絡網の整備・周知を図る

平成 30 年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

		c 大規模事故・災害対応に関する 規程類の作成	1. 対応に当たって必要な規程について検討し、整備する。	→	→		BCP の策定等、情報収集しながら整備を図る
		d 行政等が行う災害訓練への積極的な参加と、医師会独自の訓練の充実		→	→	→	航空機事故訓練参加や定期防災訓練の実施により様々な災害に対応できるよう備える
2 労働者の健康管理への支援	①認定産業医のスキルアップ	a 認定産業医のための研修会の開催	1. 産業医部会事業として研修会等の開催に努める。	→	→	→	継続実施
	②地域産業保健センターと協働した健康管理	a 地域産業保健センターとの連携・協働	1. 従業員 50 人未満の事業所の健康管理を中心に行う。	→	→	→	継続実施
3 園児・学童の健康管理への支援	①健康管理支援体制の強化	a 教育委員会及び学校等との連携強化	1. 学校医部会・園医部会の活動を通じて連携の強化に努める。	→	→	→	継続実施
		b 養護教員等の医療知識向上の協力	1. 学校医部会・園医部会の活動を通じて協力する。	→	→	→	継続実施
4 地域への啓発活動	①医師会主催のイベント・講演会等の見直しと活性化	a 医師会まつりの活性化	1. 第一期中長期計画での検討結果を具体化する。	→	→		継続実施
		b その他イベント・講演会等について、マンネリ化の回避 ・実績検証・課題の抽出 ・先進事例調査 ・見直し	1. イベント・講演会等の検証と先進事例調査等に基づき見直しを行う。	→	→		継続実施
5 地域社会貢献の検討	①可能な地域社会貢献の検討と促進	a 現体制で何ができるのか検討と社会貢献の推進	1. アンケート調査素案については作成済み。調査の実施と可能な社会貢献について検討する。	→	→		継続実施
	②会員・職員の地域活動に対する支援	a 地域社会活動への会員の参加促進	1. 情報提供等を行い参加の促進に努める。	→	→	→	継続実施
		b 地域社会活動への職員の参加促進	1. 会議等を通じ啓発を行い、参加の促進に努める。	→	→	→	近年増加している地域の集会等での専門職による講和等を通じて地域住民への啓発活動を推進する

平成 30 年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

6 地域社会活動の支援促進	①地域社会活動に企業ボランティアとしての支援方法の検討	a 地域社会活動に継続的に支援できる方法の検討	1. 地域社会活動へ医師会としての支援の方法について検討する。	→	→		継続実施
		b 地域イベントに医師会救護班等の人的支援の促進の検討	1. 引き続き医師会の人的資源を活用した支援について推進する。	→	→	→	医療救護班の適宜派遣 地域集会・学校等への講師派遣

平成 30 年度 運営について

(3) 医療機能・情報等の提供を通じた地域社会活動の支援		
区 分	目 標	実 施 計 画
1) 衛生管理や健康維持・増進活動への指導、援助、情報交換のため部会	地域の保健・医療・福祉の振興・支援 (普及・啓発・指導・協力)	①県・市町村の施策への協力 ②その他
	労働衛生行政機関等と連携した労働者の健康への支援	①職場での健康管理の体制整備の推進 ②その他
	部会活動の支援・援助、体制強化	①産業医部会 ②学校医部会 ③園医部会
	その他活動	①医師会施設の地域への貸し出し
2) 地域で行われるイベントへの救護班の派遣	地域イベント等の援助	医師会職員による救護班の派遣
3) 事故・災害時の対応訓練	非常災害時の医療体制の整備	行政等が行う防災訓練への参加
4) 保健、医療、福祉に関するイベントの開催	保健・医療・福祉に関するイベントの企画・運営	医師会まつりでの医療相談、各種検査コーナーの設置など
5) その他、健康、医療に関する一般向けの講演会等	保健・医療・福祉に関する講演会の企画・運営をし、健康教育活動の積極的推進	市民公開講座の開催等

平成 30 年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

その他 1 会員相互扶助事業

区 分	目 標	具体策
益田市医師会会員	会員同士の交流を目的とした各種会合の開催	適切な開催に努める
	会員の慶弔に関すること	会員の慶弔や表彰などを適切に行う
	会員利益の増進を目的とした各種活動	①地域連携システムの推進 ②テレビ会議システムを利用した医療介護等情報の広域での共有化の推進 ③その他
	その他会員に関すること	

事業本部

中長期計画（実施計画）について

1 在宅を中心とした安心して住める環境づくり							平成 30 年度 実施事業（計画） 及び 実施計画の変更点
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	備 考	29	30	31	
1 社会保障制度の流れと地域の特性、ニーズに対応したシステムの整備・推進	①情報の収集・調査分析	a 国・県・市町村・日本医師会等情報の収集と調査・分析	1. 収集した情報について医師会として共有し、対応（方針）について検討する。 【重点事項】 ①介護療養型医療施設の廃止（平成 29 年度） ②診療報酬・介護報酬同時改定（平成 30 年度） ③第 7 次医療計画（平成 30 年度）（島根県地域医療構想の見直し） ④第 7 期益田市介護保険事業計画（平成 30 年度）（えっとまめなプラン）	→	→	→	ビジョン委員会を通じて方針を検討し理事会で協議を行う
		b 情報の集約、分析を中心となって担う体制の検討	1. 情報を集約・分析し意見を付して理事・会員等へ提供ができる体制について検討する。（プロジェクトチーム等の設置について検討する。）	→	→		設置したビジョン委員会およびプロジェクトチームにおいて引き続き検討する
	②進展する高齢化社会における地域の医療・介護等への対応	a 地域のニーズの把握	1. 社会構造の変化に伴う地域のニーズについて把握する。	→	→	→	継続して各種統計データ等の収集と分析を継続する
		b「地域包括ケアシステム」の推進・益田市との意見交換	1. 「地域包括ケアシステム」への対応（役割）と必要な体制について検討する。	→	→		継続実施

平成 30 年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

		・医師会の役割（方針）検討 ・体制等検討 ・関係事業の実施	2. 地域ケア会議等への参加を通して、医師会施設や活動を P R し利用の促進を図る。 3. 包括支援センター設置について役割を検討する。	→	→	→	統括部にて継続実施
		c 在宅医療・介護連携推進事業の推進 ・コア会議による益田市との調整 ・医師会実施事業について検討 ・体制等検討 ・事業の実施	1. 「在宅医療・介護連携推進事業」で医師会が実施する事業について検討し、必要な体制等を整備する。 2. 益田市主催のコア会議に提案・協議・調整する。 3. 在宅医療・介護連携推進事業の円滑な実施	→			東部圏域・中部圏域について益田市より委託（H30.4.1～）を受け運営する。
				→	→	→	統括部にて継続実施
	③ 医師会独自の医療・介護支援体制の検討と運営	a 益田市等との連携	1. 医師会業務の明確化を図り、取り巻く状況やニーズの変化に適切に対応した連携を行う。	→	→	→	包括支援センターの委託を受け、新たな役割として有効に機能するよう市との連携を図る。
		b 会員との連携	1. 会員と連携し、医師会資源を有効に活用した医療・介護の支援体制の構築に努める。	→	→	→	継続実施
		c 「医療・介護推進プロジェクト」の推進	1. 「地域医療介護連携統括部」を核とした「医療・介護推進プロジェクト」を重点的に推進する。 2. 「地域医療介護連携統括部」の推進体制について検討する。	→	→	→	基金事業を活用し推進を図る
		d 先進事例等の調査と検討	1. 先進事例等を調査し、地域の医療介護に資する新たな取組について検討する。	→	→	→	基金事業を活用し先進事例のノウハウが修得できる取り組みを進める
	④ 医療と介護の地域連携システムの導入と運用	b M C S（介護等の連携）、まめネット（医療機関同士の連携）の利用促進	1. 両機能をうまく使い分け、効率的な地域連携システムを構築し利用の促進を図る。	→	→		継続実施
2 医療機能再編への対応							平成 30 年度 実施事業（計画） 及び 実施計画の変更点
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	備考	29	30	31	
1 医療機能再編に応じた必要な対策の検討と推進	① 「地域医療構想」への対応	a 「地域医療構想」の検証と対応検討 ・情報の収集と分析	1. 「地域医療構想」について、医師会としての対応について検討する。	→	→	→	各種データを分析しビジョン委員会にて検討を継続する
	② 他医療機関との連携と役割分担の検討	a 医療センター内での各病棟・施設との役割分担の検討		→	→		継続実施
		b 圏域内の他医療機関との役割分担の検討	1. 他病院との会議等で連携を深め役割分担について引き続き検討する。	→	→	→	保健所主催の地域医療対策会議、関連会議等を通じて圏域の医療機関との機能分化について協議・検討を行う

平成 30 年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

7 安定した経営基盤の確保							平成 30 年度 実施事業（計画） 及び 実施計画の変更点
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	備考	29	30	31	
1 安定した経営基盤の確保 1) 中長期計画の着実な実行のための組織・体制の構築	①効率的でわかりやすい組織の検討	a 中長期計画の着実な実行のための組織・体制の検討	1. 第二期実施計画の実施体制について検討し必要な整備を行う。	→			
		b 中長期計画第三期実施計画（H32 年度スタート）の検討体制の検討	1. 第三期実施計画の検討準備を進める。		→	→	
	②ガバナンス体制の構築	a しっかりとした統治体制の構築と推進	1. 公益法人運営の重点事項として、しっかりとした統治が行える体制の構築について不断の努力を行う。	→	→	→	継続実施
	③規則・規程等の見直しとコンプライアンスの徹底	a 規則、規程類の見直し・整備	1. 整合性・不備等について検証し、必要な見直しを行う。	→	→	→	全体を俯瞰し、規則・規程間の整合性・不備等を抽出する（早期対応が必要な個所は修正する）
		b B C P（危機管理における事業継続計画）の検討	1. 被災後のバックアップシステム等具体化も含めて検討する。	→			
		c コンプライアンスの徹底	1. 公益法人運営の重点事項としてコンプライアンスの徹底について不断の努力を行う。	→	→	→	継続実施
2) コスト意識と法律に基づく適正な会計の実施	①コスト意識と、経営への参画意識の醸成	a 研修及び勉強会等の実施	1. 経営の安定があって、発展につながるとの意識を持った組織を目指す。	→	→	→	継続実施
		b 費用対効果に基づく業務改善の推進	1. 業務の改善に当たっては、常に費用対効果を判断基準のひとつにおき推進する。	→	→	→	設備投資にあたっての適切な判断基準の策定を進める。
	②コスト管理を重視したシステムの導入	a 原価計算管理の導入	1. 経理課・医事課を中心に原価管理プロジェクトを設置する。 2. 原価計算管理の導入判断と具体的システム投資について検討する。	→	→		試行的計算過程を踏まえ、原価計算に必要なデータ区分や細目への対応可否を見極める。
		b 業務のアウトソーシング化及び外部指導体制の検討	1. 監査法人による監査のあり方について検討する。	→			平成 30 年度より会計監査人の交代を検討している。
		c 経理職員の育成と資格取得推進	1. 経理知識に長けた人材を育成し、安定した経営の向上に資する。	→	→	→	若手の経理担当者の育成を促進し、経営へ参画できる人材を養成する。
		d 業務効率化のためのシステムの検討	1. 効率的な会計事務を目指し、会計システムについて検討する。	→	→	→	引き続き効率的な会計事務実現のために必要なシステムについて検討する。

平成 30 年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

9 計画に基づく必要な施設等の整備充実							平成 30 年度 実施事業（計画） 及び 実施計画の変更点
推進課題	対 応 方 針	実 施 計 画（評価指標）	備 考	29	30	31	
1 医師会施設の 計画的整備	①施設・設備の修繕・整備等計画書作成と実施	a 病院建替までの建築物、設備の中長期修繕計画の作成と実施	1. 計画的な設備投資計画を策定し経営の安定化に資する。	→	→	→	長期的視野にたち、高額医療器械やシステム等の更新計画と資金確保についても検討する。
	②施設管理システムや体制の検討	a 施設管理に関わる体制や手順等の見直しの検討	1. 現状の方法や体制を見直し、より効率のよい体制や手順について検討する。	→	→		継続実施
2 省エネ、CO ₂ 削減対策	①省エネ新技術の導入促進	a CO ₂ 削減に向けた更なる取り組みの事業部努力と省エネ設備機器の導入の推進		→	→	→	補助金等の情報収集を継続する 高効率な機器への更新計画を検討する
3 環境の美化	①総合的な環境美化対策の推進	a 総合的な環境美化への継続的な取り組み	1. また来たくなるような医療センターを目指し、環境美化に努める。	→	→	→	委託業者による環境整備を継続実施
4 交流の場の整備	①交流の場の設置の検討	a 意見交換・交流のためのサロン設置検討	1. 多職種、O B 等が交流できる沙龙的な場の設置について検討する。	→	→	→	病棟改修の検討に合わせて検討する
5 昭和 6 1 年建設病院本館棟の建て替え準備	①本館棟建替資金の計画的積み立て	a 資金の計画的積立て	1. 計画期間（平成 24 年度から平成 59 年度）において、収支相償上の積立限度額の範囲内で積み立てを行う。	→	→	→	医療器械の計画的積立について検討を行なう。

平成 2 9 年度 運営について

(4) 事業本部の運営		
区 分	目 標	具 体 策
事業本部の運営	推進体制の構築等	a 事業計画・報告体制の確立と職員への周知
		b その他、今後の運営に必要な事項の検討・策定
		c 中長期計画第 2 次実施計画の実施
		d 第 3 次実施計画（H32 年度スタート）に向け、時勢にあった基本計画の検討を行う

公的目的事業 1 地域医療の質的向上・体制整備を図り、住民の健康増進及び地域社会の健全な発展に寄与する事業

地域医療介護連携統括部

中長期計画（実施計画）について

1 在宅を中心とした安心して住める環境づくり							平成 30 年度 実施事業（計画） 及び 実施計画の変更点
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	備 考	29	30	31	
1 社会保障制度の流れと地域の特性、ニーズに対応したシステムの整備・推進	①情報の収集・調査分析	a 国・県・市町村・日本医師会等情報の収集と調査・分析	1. 収集した情報について医師会として共有し、対応（方針）について検討する。 【重点事項】 ①介護療養型医療施設の廃止（平成 29 年度） ②診療報酬・介護報酬同時改定（平成 30 年度） ③第 7 次医療計画（平成 30 年度）（島根県地域医療構想の見直し） ④第 7 期益田市介護保険事業計画（平成 30 年度）（えっとまめなプラン）	→	→	→	プロジェクトチーム会議が発足するのでメンバーとして、統括部の状況を伝え、検討する。
		b 情報の集約、分析を中心となって担う体制の検討	1. 情報を集約・分析し意見を付して理事・会員等へ提供ができる体制について検討する。（プロジェクトチーム(PJ)等の設置について検討する。）	→	→		プロジェクトチーム会議のメンバーとして、統括部の状況を伝え、検討する。
	②進展する高齢化社会における地域の医療・介護等への対応	a 地域のニーズの把握	1. 社会構造の変化に伴う地域のニーズについて把握する。	→	→	→	継続実施
		b「地域包括ケアシステム」の推進 ・益田市との意見交換 ・医師会の役割（方針）検討 ・体制等検討 ・関係事業の実施	1. 「地域包括ケアシステム」への対応（役割）と必要な体制について検討する。	→	→		充分機能していないため継続実施
			2. 地域ケア会議等への参加を通して、医師会施設や活動を P R し利用の促進を図る。	→	→	→	継続実施
			3. 包括支援センター設置について役割を検討する。	→	→		H 30 年度設置予定であり、継続実施
		c 在宅医療・介護連携推進事業の推進 ・コア会議による益田市との調整 ・医師会実施事業について検討 ・体制等検討 ・事業の実施	1. 「在宅医療・介護連携推進事業」で医師会が実施する事業について検討し、必要な体制等を整備する。	→	→		H 30 年度も継続実施
			2. 益田市主催のコア会議に提案・協議・調整する。	→	→	→	継続実施

平成 30 年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

	③ 医師会独自の医療・介護支援体制の検討と運営	a 益田市等との連携	1. 医師会業務の明確化を図り、取り巻く状況やニーズの変化に適切に対応した連携を行う。	→	→	→	継続実施
		b 会員との連携	1. 会員と連携し、医師会資源を有効に活用した医療・介護の支援体制の構築に努める。	→	→	→	継続実施
		c「医療・介護推進プロジェクト」の推進	1. 「地域医療介護連携統括部」を核とした「医療・介護推進プロジェクト」を重点的に推進する。 2. 「地域医療介護連携統括部」の推進体制について検討する。	→	→	→	スムーズな連携を検討 体制整備が不十分なため、継続実施
		d 先進事例等の調査と検討	1. 先進事例等を調査し、地域の医療介護に資する新たな取組について検討する。	→	→	→	継続実施
	④ 医療と介護の地域連携システムの導入と運用	a 情報の共有化システム検討	3. 地域医療介護連携統括部 ・既存のシステムでの情報共有方法について検討する。 ・将来的にむかって医療と介護の情報共有ツールの整備を検討する。	→			
		b M C S（介護等の連携）、まめネット（医療機関同士の連携）の利用促進	1. 両機能をうまく使い分け、効率的な地域連携システムを構築し利用の促進を図る。	→	→		両機能について、利用促進を継続実施
4 推進体制の整備	① 安定した経営基盤に立脚した地域支援推進体制の構築	c 地域医療介護連携統括部の推進体制の整備	1. 設置目的の達成に向かって必要な体制を検討し、機能の強化を図る。	→	→		病床の有効活用が不足しており、継続実施
	② 地域内完結率の向上	a 医師会内の連携強化 ・統括部内の連携体制の強化 ・病床カンファレンスの充実 ・退院支援体制の強化	1. 病床機能を最大限に有効活用できるシステムをつくる。 2. 地域内完結率向上意識の徹底を図る。	→	→		継続実施 継続実施
		b かかりつけ医との連携強化 ・訪問診療体制の調査 ・在宅療養後方支援病院の検討 ・機能強化型在宅療養支援診療所の検討	1. 訪問診療等により自宅への退院患者を増やす方策について調査・検討する。	→	→	→	継続実施
		c 近隣病院・介護事業所との連携強化 ・連携会議の開催 ・定期施設訪問の実施 ・研修会の開催	1. 他病院・他施設との役割を分担し、連携強化に努める。	→	→	→	医療連携実務者会議で継続実施

平成 30 年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

		d 地域住民理解の推進 ・地域・学校での講演会 ・イベント等での P R 活動	1. 各種活動を通じ、在宅復帰等への理解を得る。	→	→	→	在宅医療・介護連携推進事業を活用して、継続実施
2 医療機能再編への対応							平成 30 年度 実施事業（計画） 及び 実施計画の変更点
推進課題	対 応 方 針	実 施 計 画（評価指標）	備 考	29	30	31	
1 医療機能再編に 応じた必要な対 策の検討と推進	①「地域医療構想」 への対応	a「地域医療構想」の検証と対応検 討 ・情報の収集と分析	1. 「地域医療構想」について、医師会としての対応につい て検討する。	→	→	→	プロジェクトチーム会議が発足するのでメンバーとし て、統括部の状況を伝え、検討する。
	②他医療機関との連 携と役割分担の検 討	a 医療センター内での各病棟・施設 との役割分担の検討		→			
		b 圏域内の他医療機関との役割分 担の検討	1. 他病院との会議等で連携を深め役割分担について引 き続き検討する。	→	→	→	医療連携実務者会議で継続実施
4 利用者サービスの向上と創出							平成 30 年度 実施事業（計画） 及び 実施計画の変更点
推進課題	対 応 方 針	実 施 計 画（評価指標）	備 考	29	30	31	
4 情報発信、広 報活動の実施と充 実	①より効果のある広 報活動の展開	a 広報活動体制の見直し	1. 効率的でより効果のある広報活動が展開できる体制 について検討し必要な見直しを行う。	→			
		b 情報誌（双葉他）の魅力化	1. 魅力ある誌面作りについて検討する。	→	→		地連だよりの発行について、継続実施 病院だよりの発行方法の検討
		c H P のリニューアルの検討	1. 新しい感覚による見たくなるホームページについて検討 する。 2. 公益社団法人としての情報掲載について検討する。	→	→		統括部の更新を定期的に実施
		d インターネット（HP・SNS）の活 用促進	1. インターネットを活用した病院の周知対策として、新た な発信方法を展開する。	→	→	→	継続実施
		e 関係機関や地域への広報の実施	1. 多くの媒体を利用した広報対策について検討し実施 する。	→	→	→	継続実施
5 医師会共同利用施設活用への支援と利用促進							平成 30 年度 実施事業（計画） 及び 実施計画の変更点
推進課題	対 応 方 針	実 施 計 画（評価指標）	備 考	29	30	31	
1 会員が利用し やすい共同利用施 設の運営	①会員が利用しやす い共同利用施設の 運営方法の検討	a 会員ニーズの調査	1. 利用し難い理由等も含めたアンケートの内容について 検討し実施する。	→			
		b 会員医師との連携強化	1. 会員医師と連携を強化し共同利用の推進に努める。	→	→	→	継続実施

平成 30 年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

		c 放射線検査の予約方法の検討	1. 効率的な運用により予約枠の拡大について検討する。 2. 放射線検査オンライン予約システムの導入について検討する。 3. 放射線検査画像、検査レポートの受け渡し方法について検討する。	→			
		d 地域医療介護連携統括部と病棟との連携強化	1. 退院調整看護師の増員等による退院支援の充実について検討する。	→	→		退院後訪問の充実を図る
		e 在宅療養後方支援病院の検討	1. 在宅療養後方支援病院の施設基準の取得について検討する。	→	→		継続実施
	②地域医療支援病院としての機能の充実	a 紹介率の向上対策	1. 会員との連携強化（紹介方法・受入態勢等）について検討し実施する。 2. 退院調整能力の向上について検討し、紹介率の向上を図る。 3. 会員と常勤医師の協議の場を設定する。	→	→	→	課題が多く、継続検討 患者さんの受入れ可能な範囲を明確にする
		b 救急の維持対策	1. 圏域救急病院と役割を分担し圏域の救急医療の一翼を担う。 2. 会員の協力体制について検討する。	→	→	→	
		c 共同利用の促進対策	1. 医療機器等の共同利用の更なる利用について検討し、利用率の向上に努める。	→	→	→	
	③外来診療部門等の整備検討	a 人員配置の見直し検討	1. 何が不足しているのか等、調査し必要な体制について検討する。	→			
		b 既存検査機能の拡大	1. 検査機能の補完（益田赤十字病院の検査部門をバックアップ機関として使用させてもらうための協議を行う（検査項目、手順））について検討する。 2. 検査機能の拡大（不妊治療のための検査設備の充実（外来部門、採精室の整備））について検討する。	→	→		
		c 最新医療機器・備品の整備検討	1. ニーズ・必要性・経営等、多角的に検討する。	→	→	→	
	④臨床検査センターの安定した運用	a 臨床検査センターの運用データの収集	1. 開設以降の各種データを収集・蓄積する。	→			
		b 臨床検査センターの運用について 会員意見聴取	1. 医師会員訪問に同行し、意見聴取を行う。	→	→	→	

平成 30 年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

		c 臨床検査センターの運用方法の検討	1. 収集したデータ・意見等を元に、運用方法について検討する。	→	→	→	
	⑤会員が利用しやすい共同利用施設の設置と運営方法の検討	a より良い関係構築のための方策検討	1. 毎年の会員医訪問において改善点・要望を聴取し、必要な方策について検討する。	→	→	→	継続実施 10 月から 7 月に変更予定
		b 会員ニーズの調査	1. 毎年の会員医訪問において改善点・要望を聴取し、事業部全体へフィードバックを行う。	→	→	→	継続実施
		c 地域医療介護連携統括部との連携強化	1. 各事業部の利用動態について定期的に報告・協議を行い、連携を強化する。 2. 地域医療介護連携統括部内の相談員同士での情報交換を密にし、相互利用活性化を図る。	→	→	→	継続実施 医療介護相談室体制により、連携が取りやすくなったが、更に整える
7 安定した経営基盤の確保							平成 30 年度 実施事業（計画） 及び 実施計画の変更点
推進課題	対応方針	実施計画（評価指標）	備考	29	30	31	
3 一般病棟の利用率低下への対応	①かかりつけ医・周辺施設と患者情報の共有による効果的なベッドコントロールの実施	a 会員との情報交換の充実	1. 地域医療介護連携統括部と共働して、会員と情報交換を行う。 2. 病棟の情報提供と、適切な病棟利用への協力依頼を行う。	→	→	→	2 回／週の空床情報の継続
		b 周辺施設との連携強化	1. 地域医療介護連携統括部と共働して、周辺施設と情報交換を行う。	→	→	→	圏域医療連携実務者会議の継続開催
	②紹介件数の向上	a 会員・近隣病院・介護事業所に病院情報等の提供	1. 地域医療介護連携統括部と共働して、効果的な情報提供を行う。	→	→	→	
		b 近隣病院や介護事業所との連携強化による対象者の確保	1. 地域医療介護連携統括部と共働して、近隣病院や介護事業所からの患者の確保に努める。 2. 近隣病院・介護事業所と連携方策について協議を重ねる。	→	→	→	会員訪問、施設訪問の継続実施
		c 紹介栄養指導（集団・個人）の継続		→	→	→	
	③診療報酬等収益の確保対策	a 病床利用率等の調査	1. 病床区分別に利用率等の調査を行う。	→	→	→	
		b 個室化への情報収集・検討	1. 個室希望者調査を行い、適正な個室数について検討する。	→			

平成 30 年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

		c 診療報酬改定の際の算定できる 加算等の研究と算定方法の検討	1. 病棟ごとに増収に向けての対策について検討する。	→	→	→	
4 地域包括ケア 病棟の利用促進への 対応	①効果的なベッドコン トロールの実施	a 周辺病院・施設との連携強化	1. 連携会議（益田赤十字病院）を継続する等連携の 強化を図る。	→	→	→	連携会の継続実施
		b 病棟活用カンファレンスの有効利 用	1. 入院状況や入院取扱いの偏在化解消のため、ベッド コントロールの一元化及び標準化を図る。	→	→	→	継続実施
	②紹介件数の向上	a 近隣病院や介護事業所との連携 強化による対象者の確保	1. 地域医療介護連携統括部と共働して、近隣病院や 介護事業所からの患者の確保に努める。 2. 近隣病院・介護事業所と連携方策について協議を重 ねる。	→	→	→	継続実施
	③診療報酬等収益 の確保対策	a 病床利用率等の調査	1. 病床区分別に利用率等の調査を行う。	→	→	→	
		b 診療報酬改定の際に算定できる 加算等の研究と算定方法の実施	1. 病棟ごとに増収に向けての対策について検討する。	→	→	→	
5 特定病棟（回 復期リハ・特殊疾 患・療養病棟）の 利用者減少への対 応	①効果的なベッドコン トロールの実施	a 周辺病院・施設との連携強化	1. 連携会議（益田赤十字病院）を継続する等連携の 強化を図る。	→	→	→	継続実施
		b 病棟活用カンファレンスの有効利 用	1. 入院状況や入院取扱いの偏在化解消のため、ベッド コントロールの一元化及び標準化を図る。	→	→	→	継続実施
	②紹介件数の向上	a 近隣病院や介護事業所との連携 強化による対象者の確保	1. 地域医療介護連携統括部と共働して、近隣病院や 介護事業所からの患者の確保に努める。 2. 近隣病院・介護事業所と連携方策について協議を重 ねる。	→	→	→	継続実施
		a 病床利用率等の調査	1. 病床区分別に利用率等の調査を行う。	→	→	→	
	③診療報酬等収益 の確保対策	b 診療報酬改定の際に算定できる 加算等の研究と算定方法の実施	1. 病棟ごとに増収に向けての対策について検討する。	→	→	→	
	④回復期リハ病棟の効 率的な運用	a 回復期リハ病棟に関する情報収 集と分析	1. ニーズや対象者の流れを把握する。	→	→	→	
		b 回復期リハ病棟の施設基準Ⅱ取 得の検討	1. 治療成績（FIM）の向上検討・対策へ計画をシフト する。 2. 施設基準Ⅱの取得は必須、施設基準Ⅰの可能性を 検討する。	→			

平成 30 年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

		c 回復期病棟の治療成績の集計分析	1. 患者獲得への分析・検討を行う。 (リハビリテーション科と回復期リハビリテーションスタッフでの合同勉強会実施) 2. 地域住民や医療機関に啓発活動を行う。 3. 看護師と療法士を公式な FIM 研修会へ派遣する。 4. 院内で適正な評価につながるための定期的な勉強会を開催する。	→	→	→	継続実施
⑤他組織（介護保険サービス）との連携強化による増収	a 退院後の調整強化	1. 地域医療介護連携統括部と共働し、医師会内介護事業所との連携方法について検討する。	→	→	→	継続実施	
	b 退院調整関係の診療報酬の増収対策の検討	1. 地域医療介護連携統括部との連携・共働し増収対策について検討する。	→	→	→	退院後訪問、介護支援指導、退院調整の充実を図る	
	c 会員医療機関連携による診療報酬増収の対策の検討	1. 会員と連携することで算定できる加算について検討する。（在宅療養後方支援病院、退院時共同指導等） 2. 会員医療機関が、在宅療養支援診療所を取得できる支援体制の検討を行う。	→	→	→	継続検討	

収益事業 1 患者、要介護者等の健康保険・介護保険・福祉の増進を図る事業

益田市東部・中部地域包括支援センター

中長期計画（実施計画）について							
3 医療・保健・福祉サービスの提供						平成 30 年度 実施事業（計画） 及び 実施計画の変更点	
推進課題	対 応 方 針	実 施 計 画（評価指標）	備 考	29	30	31	
3 益田圏域の介護等ニーズへの対応	⑨地域包括支援センターの安定運営	a 相談事例への的確な対応ができる体制づくり	1. 益田市からの円滑な業務引継と後方支援体制の確保 2. スタッフ間や関係協力機関との情報共有を図る 3. スタッフの能力向上		→	→	
		b 地域・関係機関との連携構築	1. 地域ケア会議等の円滑な開催 2. 益田市・関係機関等との協力		→	→	
		c 地域住民への周知	1. 益田市とも協力し、広報を実施		→	→	
7 安定した経営基盤の確保						平成 30 年度 実施事業（計画） 及び 実施計画の変更点	
推進課題	対 応 方 針	実 施 計 画（評価指標）	備 考	29	30	31	
8 地域包括支援センターの安定経営	①事業実施に必要な受託費用の確保	a 益田市との予算協議の継続	1. 毎年の予算編成に向けて益田市と協議		→	→	
	②指定介護予防支援事業の安定運営	a 安定運営	1. 必要人員の確保 2. 問題点の抽出・改善		→		
		b ケアプラン作成の効率化	1. 業務環境の整備 2. プランナーへの意識啓発、能力向上		→	→	
		c 関係機関との連携強化	1. 予防事業実施事業所等との連携 2. 居宅支援事業所等との連携		→	→	
	③中部圏域移設に向けた検討	a 移設後の体制を検討	1. 33 年度の移設に向け準備を行う 2. 益田市との予算協議			→	

平成 30 年度 公益社団法人 益田市医師会 事業計画

平成 30 年度 運営について			
区 分	目 標	実 施 計 画	
1 地域包括支援センター	数値目標（年間収入）	委託料収入 60,173,000 円	
1）包括的支援業務	数値目標	総合相談件数	55 件/月 ※益田市包括の実績の 2/3 を基準に 初年度のため 90%程度で計画した
2）指定予防介護支援業務	数値目標	プラン件数	直営 196 件/月（一人当たり 49 件/月）